

# 西宮市生態系レッドデータブック



平成 24 年 4 月

西宮市

# 目 次

I. はじめに .....	1
II. 重要な生態系の考え方 .....	2
III. 重要な生態系の抽出と選定 .....	4
1. 目的 .....	4
2. 重要な生態系の抽出・選定方法 .....	4
3. 抽出・選定結果 .....	5
IV. 重要な生態系の評価 .....	9
1. 評価方法 .....	9
2. 評価結果 .....	10
V. 重要な生態系資料 .....	12
1. 目的 .....	12
2. 掲載内容の検討 .....	12
3. 重要な生態系資料 .....	12

## 資料編

西宮市における重要な生態系資料

参考・引用文献

## I. はじめに

西宮市には、様々な生きものの暮らす自然環境が存在します。シギやチドリの舞う甲子園浜、御前浜、香櫨園浜の干潟や海浜、緩やかな河口、礫原、溪谷など多様な姿を見せる武庫川、ホタルの飛び交う有馬川、船坂川、仁川などの中小河川、市民に親しまれる甲山の樹林や仁川広河原の草原、サギソウが咲き、日本最小のトンボであるハッチョウトンボが舞う山腹の小規模な湿地、棚田や里山が今でも残されている北部の農村環境、広田山や岡田山などのように市街地に残された緑のオアシスのまち山などが代表的なものです。

これらの一つ一つに、それぞれ特有のいきもの同士のつながりといきものと土地とのつながり＝生態系が形成されています。西宮市では、今までに少なくとも約 3,600 種類ものいきものが暮らしていることがわかっています。このような多様ないきものは、こうした多様な生態系の存在によって育まれています。

西宮市は、これからも多様な生物のすみかとなっている生態系を守り、健全な状態で次の世代へ伝えていきたいと考えています。そこで、生態系の保全や再生などの取り組みの礎となるように、西宮市内で特に重要と考えられる生態系を選びました。また、各生態系について、自然性、希少性や環境学習のフィールドとしての利用といった面から、その重要性をランク評価しました。

このレッドデータブックは、こうして選ばれた重要な生態系とその概要を紹介するものです。西宮市の生物多様性保全へ役立つものとなることを期待しています。

## II. 重要な生態系の考え方

- ・ 植生単位を基本に、可視できるまとまりのある環境単位を「小生態系」と位置づけます。
- ・ 「小生態系」が複数集まり、集水域などで区分できる範囲を「中生態系」と位置づけます。

生態系 (ecosystem) とは、「生物群集と無機的環境からなる一つの物質系」と解説されています (沼田編, 1983)。最も大きな生態系は地球です。地球上の生き物、土壌、水、大気は、地球という閉鎖系の中で、数十億年もの間、循環し、維持されています。また、この地球の中では、互いに関連しあっているものの、生物群集と環境の相違により、海の生態系、砂漠の生態系、熱帯の生態系などに区分することができます。

西宮市では、御前浜、香櫨園浜、甲子園浜などの海、武庫川の河口や溪谷、六甲山、南部の市街地、北部の農村環境など様々な環境が存在します。さらに、これらの環境については、例えば海岸であれば、水域、干潟、砂浜などに細分することができます。

そこで、本報告書では、生態系の基本となる単位を検討し、それを小生態系と位置づけて整理を行うものとします。また、小生態系が複数集まり、集水域などで区分できる範囲については中生態系として扱います (図1)。

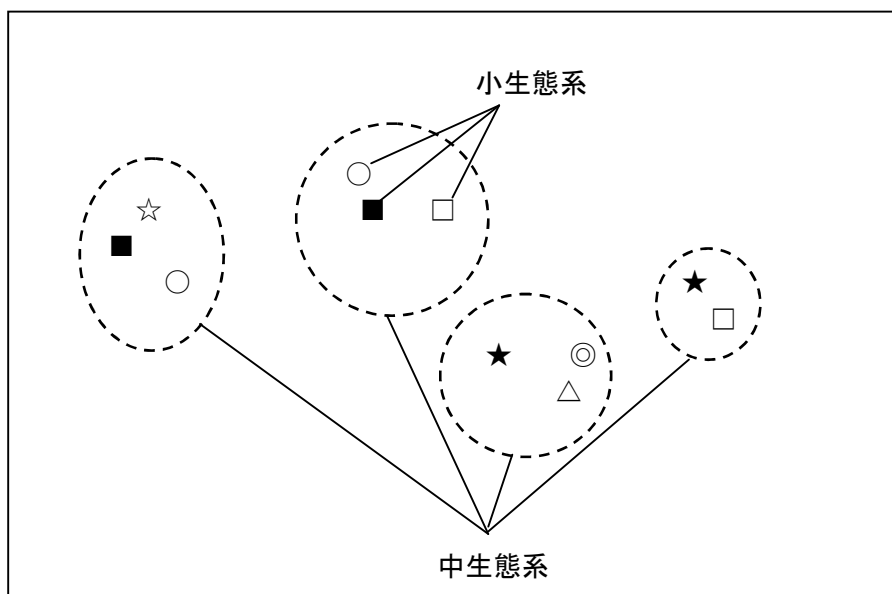


図1 生態系の考え方の模式



## ■生態系の階層の定義

### <小生態系>

定義 : 可視的に認識できる環境単位。

設定目的 : 現実的な保全行為がとれる規模で地域を指定し、保全を促すことを目的とします。

対象例 : 社寺林（林縁群落も含む）、湿原（複数の植生タイプが出現する場合も含む）、ため池、水田、水路、草地、岩場など

### <中生態系>

定義 : 谷筋に開かれた水田や谷頭のため池及びそれらを取り囲む林など、原則として複数の小生態系を含む集水域単位の生態系。情報不足などで小生態系として抽出することが困難な場所であっても、まとまりとして良好な自然環境が保たれている環境。

設定目的 : 複数の生態系を利用する生物の保全を促すことを目的とします。

対象例 : 数十 ha 程度の規模で広がる生態系。里地・里山、河川、山地斜面など。また、西宮市や兵庫県が自然を利用し保全することを目的に設けた公園や施設（甲山森林公園、北山公園、仁川緑地）など。

### Ⅲ. 重要な生態系の抽出と選定

#### 1. 目的

資料収集や後述する現地調査の結果、レッドデータブック掲載種が確認されている地点や、生態的に見て重要である地域など、西宮市の生物多様性の保全へ向けて重要と考えられる地点・地域などを抽出し、西宮市における重要な生態系を選定します。

#### 2. 重要な生態系の抽出・選定方法

重要な生態系の抽出にあたっては、条例などで保全が図られている箇所、兵庫県版レッドデータブックなどにより、生態学的に重要と位置づけられているものを対象としました（表1）。

また、資料収集などで得られた情報や、後述する現地調査結果などを基に、各種条例、法規制は受けていないものの、西宮市における生物多様性の保全上、重要と考えられる生態系も抽出・選定しました。

表1 重要な生態系の抽出対象と選定基準

抽出対象			選定基準
区分	項目	地区・件数	
西宮市の指定による 自然環境の保全地区	自然保護地区	2地区	全て選定
	生物保護地区	2地区	全て選定
	景観樹林保護地区	26地区	人為的な影響を強く受けているものを除外し、自然性の比較的高いものを選定しました。
指定文化財	県指定天然記念物	7件	生物の生育、生息空間として機能する樹林を選定。単木などは除外しました。
	市指定天然記念物	5件	生物の生育、生息空間として機能する樹林を選定。単木などは除外しました。
国の指定による 鳥獣保護区	特別保護地区	1地区	全て選定
兵庫県版 レッドデータブック	植物群落	12箇所	全て選定
	地形	6箇所	生物の生育、生息環境として重要な箇所を選定しました。
	地質	5箇所	生物の生育、生息環境として重要な箇所を選定しました。
	自然景観	12箇所	全て選定

その他の抽出基準は以下の通りです。

#### ◎まとまった孤立林・樹林帯

空中写真を参考に、市街地の中であって、まとまった面積を有する樹林地を抽出しました。また、帯状に成立し、複数の重要な生態系を連結する樹林についても、生態系のネットワーク機能の確保という観点から、重要な生態系として抽出しました。

#### ◎絶滅危惧種の生育、生息地

資料収集の結果、絶滅危惧種などが多数生育しているエリアを抽出しました。

◎潜在的に絶滅危惧種の生育する可能性のある場所

現時点では、文献資料の情報が不足しているため、絶滅危惧種の生育、生息は確認されていませんが、地形や自然環境の状態から、絶滅危惧種の生育、生息の可能性が高いと考えられる箇所を抽出しました。

◎市民が自然とふれあう場所

環境学習の推進という観点から、生物多様性市民アンケートの結果、「よく利用している」との回答をいただいた生態系について、抽出しました。

### 3. 抽出・選定結果

・重要な「小生態系」を 44 箇所、重要な「中生態系」を 30 箇所、合計 74 箇所を選定しました。

重要な生態系の抽出、選定の結果、重要な小生態系として 44 箇所、中生態系として 30 箇所を選定しました（表 2、図 2 (1)、図 2 (2)）。





- 凡例
- 西宮\_重要な中生態系
  - 西宮\_重要な小生態系



図2(1) 重要な生態系(北部)





#### IV. 重要な生態系の評価

##### 1. 評価方法

各種指定による保全や植物群落などとしての評価、絶滅危惧種の出現状況を基に、重要な生態系の評価を行いました。評価項目、内容と評価基準、評価点案は表3の通りです。

評価の際、環境学習の学習フィールドの利用状況（環境学習で何校が利用しているのかなど）についても、加味しました。これは、仮に自然性が低かったとしても、市民がよく利用している生態系は、西宮市民にとって価値が高いとの考えによるものです。

重要な生態系の評価（A～C ランク、要注目）	
自然性、希少性など（各項目 0～3 点）	環境学習への活用度など（各項目 0～2 点）

##### 重要な生態系評価の模式図

表3 評価項目、内容と評価基準、評価点（案）

評価項目	評価内容	評価基準	評価点	
① 環境としての 希少性・ 脆弱性	法指定	市指定自然・生物保護地区	該当する	1
		県・市指定天然記念物	該当する	1
		鳥獣保護区特別地区	該当する	1
	緑地としての 希少性	景観保護樹林	該当する	1
		孤立林・孤立樹林帯	該当する(空中写真などで判断)	1
	植生としての 希少性	兵庫県RDB(植物群落)	該当する	1
	立地環境とし ての希少性	兵庫県RDB(重要な生態系)	該当する(ランクは問わない)	1
兵庫県RDB(地形、地質ま たは自然景観)		該当する(ランクは問わない)	1	
② 希少な生物 の生息環境 としての重 要性	絶滅危惧種 の生息環境 としての評 価	兵庫県 RDB 掲載種の出現状 況	A ランク 3 種以上または B ランク 10 種以上	3
			A ランク 1 種または B ランク 3 種以上	2
			B ランク 1 種以上または C ランク 3 種以上	1
			上記以外	0.5
③ 生物多様性 維持のため の重要性	多様な生態系 タイプの存在 を評価	中生態系内に分布する 生態系タイプ数	10 以上	3
			5～9	2
			1～4	1
④ 環境学習の 場としての 重要性	環境学習への 利用状況の評 価	フィールドの環境学習への利 用学校数	2 校以上	2
			1 校	1
	自然とふれあ う場	生物多様性アンケートで、「よく 利用される自然」の回答件数	2 件以上	2
			1 件	1

評価基準に該当しない場合は0点とする。

## 2. 評価結果

各生態系の評価項目に対し、評価基準に基づいて、それぞれ点を与えました。重要な生態系のランク評価については、各項目の評価点を合計しました。ランク評価の基準（案）および評価結果は表4の通りです。

評価の結果、中生態系として、甲山周辺、武庫川中下流、武庫川溪谷、仁川、甲子園浜、小生態系として、甲子園浜の海浜、甲子園浜の干潟の計7生態系がAランクに評価されました。詳細については、表5の通りです。

表4 ランク評価の基準（案）および評価結果

ランク評価	評価点（合計値の相対値*）	重要な生態系数
Aランク	50点以上	7
Bランク	30点以上	17
Cランク	10点以上	33
要調査	10点未満	17
計		74

\*：100点満点に換算した値





## V. 重要な生態系資料

### 1. 目的

生物多様性保全の推進などの基礎資料とするため、選定した西宮市内の重要な生態系について、生態系の基盤である植生と、そこに生育、生息する植物や動物の確認状況などをできる限り網羅的に紹介します。

### 2. 掲載内容の検討

重要な生態系資料の作成にあたり、生物多様性の保全に関連する以下の項目について、整理しました（表6）。

表6 重要な生態系資料 おもな掲載内容

番号	おもな項目	掲載内容
①	ランク	重要な生態系のランク（A～C，要調査）を示しました。
②	生態系区分	各生態系を、その成立立地から「川・池沼」、「海」、「まち」、「山」の4つに区分し、示しました。
③	生態系階層区分	小生態系と中生態系の区分を示しました。
④	環境タイプ	各生態系に存在する自然環境や立地条件のタイプを示しました。
⑤	含まれる重要な小生態系	重要な中生態系について、重要な小生態系を含む場合は、その名称を示しました。
⑥	重要な生態系の写真	各生態系の特徴を視覚的に理解できるように、写真を掲載しました。
⑦	分布図	西宮市内における分布の概略位置を把握できるように、地図上に確認位置を示しました。
⑧	面積	重要な生態系の概算面積を示しました。
⑨	概要	重要な生態系の概要を把握できるように、分布や自然環境の状況、歴史、人との関わりなどについて記載しました。
⑩	植生	生態系の基盤となる植生（群落、群集名）を記載しました。
⑪	環境を特徴づけるおもな生物	生態系を特徴づける代表的な生物種を記載しました。 （生育、生息する種は他にもあります）
⑫	法規制、指定など	自然環境の保全に関連した法規制、条例などの指定状況を記載しました。

### 3. 重要な生態系資料

以上の検討結果を基に作成した重要な生態系資料を次頁以降に示します。

# 西宮市における重要な生態系資料

■重要な生態系資料の解説内容の説明

■重要な生態系資料

## ■重要な生態系の解説内容の説明

小生態系、中生態系の区分を記載(③)

海、川、まち、山の区分を記載(②)

重要な生態系の番号を記載

重要な生態系の名称を記載

重要な生態系のランクを記載(①)

57 武庫川溪谷

ランク  
A

川・池沼

中生態系

環境タイプ: 溪谷

含まれる小生態系: -

生態系を特徴づける環境タイプを記載(④)

中生態系の場合は範囲内に含まれる小生態系の名称を記載(⑤)

生態系を特徴づける写真を掲載(⑥)

分布位置を地図で表示(⑦)

重要な生態系の面積を記載。(⑧)

面積: 35.8 (ha)

### ■概要

重要な生態系の特徴や人との関わりなどを記載(⑨)

武庫川の中流部は、地形の隆起により形成された深いV字形の溪谷となっています。谷幅300～500m、谷の深さは150～200mに達します。大きな淵がたくさん見られるほか、強い水の流れるにさらされる川岸の岩場には、サツキ、ツメレンゲなどの特有の植物のほか、クロツバメシジミ、アイヌハンミョウ、カワラゴミシなどの希少な昆虫類が見られるなど、兵庫県全体から見ても貴重な環境となっています。また、溪谷に沿った鉄道の廃線跡を利用して、多くの人々が溪谷の自然景観を楽しみに訪れています。「兵庫県版レッドリスト2010」では、溪谷に成立する岩上植物群落は植物群落のAランクに選定されているほか、「兵庫県版レッドリスト2011」においても、地形、地質、自然景観が、それぞれ貴重な自然として選定されています。

### ■植生

重要な生態系を構成する植生を記載(⑩)

河辺・岩上植物群落、溪流辺植物群落、アカマツモチツツジ群集、アラカシ群落、コナラアベマキ群集

### ■環境を特徴づけるおもな生物

環境を特徴づけるおもな生物を記載(⑪)

アラカシ、オニグルミ、イブキシモツケ、カワラハンノキ(植物)、カワガラス(鳥類)、ギギ(魚類)、キベリハムシ(外来昆虫)など

### ■法規制、指定など

自然環境に関連した法規制、条例などの指定状況を記載(⑫)

—

※□内の丸数字は表6の番号に対応します。

※環境を特徴づけるおもな生物については、代表的な種をあげています。

## 1 越木岩神社林

ランク

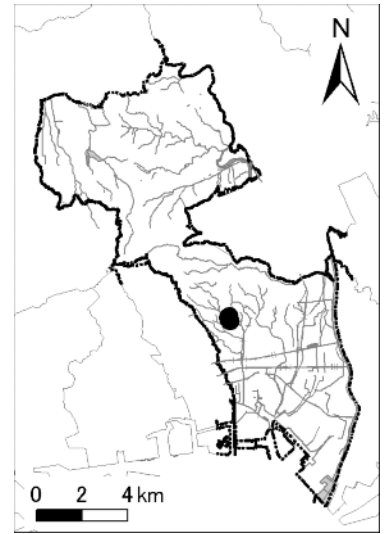
B

まち

小生態系

環境タイプ：社寺林

含まれる小生態系：-



面積： 1.5 (ha)

## ■概要

北山山麓の住宅地で囲まれた高台に位置します。境内には、ヒメユズリハをはじめとする高さ15～20mにおよぶ大木からなる照葉樹林が成立しています。林内にはシイやカシの仲間の樹木が少なく、クロバイなどが多く生育しています。樹林内に参道が整備されていますが、林内への人の立ち入りは少ないようで、良好な状態が保たれています。この樹林は、鎮守の森または社叢林として、地域の人々に親しまれてきました。かつてこの地域に広がっていたと考えられる照葉樹林の名残をとどめる樹林として、学術的にも大変重要なものです。兵庫県天然記念物、西宮市の指定文化財および景観樹林保護地区に指定されています。また、社叢の自然景観は「兵庫県版レッドリスト2011」のCランクに選定されています。

## ■植生

コジイ-カナメモチ群集

## ■環境を特徴づけるおもな生物

アラカシ、ヒメユズリハ、クロバイ、モッコク(植物)など

## ■法規制、指定など

景観樹林保護地区、県指定天然記念物



## 2 西宮神社林

ランク

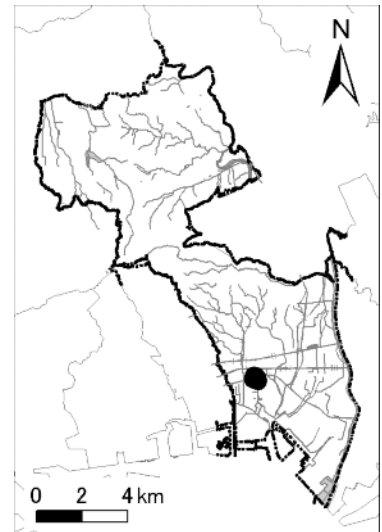
B

まち

小生態系

環境タイプ：社寺林

含まれる小生態系：-



面積： 3.1 (ha)

### ■概要

西宮市南部の平野に位置し、周辺は市街地となっています。樹林を構成するクスノキは元々は植栽されたものと考えられますが、今日では高さ20mを超える大木となり、立派な照葉樹林を形成しています。樹林の周りは柵で囲まれており、立ち入りは制限されています。しかし、下刈りを受けた場所が所々にみられるなど人為攪乱の影響も認められます。林縁部を中心に外来樹種のトウネズミモチが繁茂しており、分布の拡大が懸念されます。兵庫県天然記念物、西宮市の指定文化財および景観樹林保護地区に指定されています。また、境内にある大阪湾の旧海岸線に形成された海岸砂州の名残りの地形は、「兵庫県版レッドリスト」のCランクに選定されています。

### ■植生

クスノキ群落

### ■環境を特徴づけるおもな生物

クスノキ、クロガネモチ、ヤブツバキ(植物)、ヤコンオサムシ(昆虫類)など

### ■法規制、指定など

景観樹林保護地区、県指定天然記念物

### 3 日野神社林

ランク

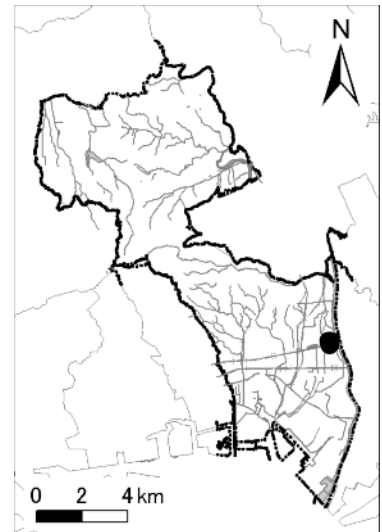
B

まち

小生態系

環境タイプ： 社寺林

含まれる小生態系： -



面積： 1.5 (ha)

#### ■概要

西宮市東南部の平野に位置し、周辺は住宅地や耕作地となっています。高さが20mに達するクスノキの大木が多くみられます。また、瀬戸内海沿岸地域では非常に少ないタブノキの高木が複数生育しています。林内は、下刈りや樹木の伐採、立ち入りの影響は少なく、比較的良好な状態が保たれています。兵庫県天然記念物、西宮市の指定文化財および景観樹林保護地区に指定されています。

#### ■植生

クスノキ群落

#### ■環境を特徴づけるおもな生物

クスノキ、モチノキ、クロガネモチ(植物)など

#### ■法規制、指定など

景観樹林保護地区、県指定天然記念物

## 4 広田神社(広田山)

ランク

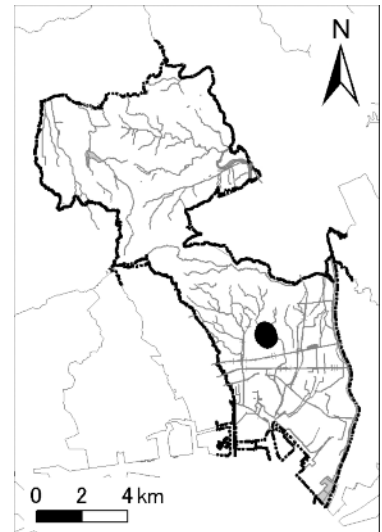
B

まち

小生態系

環境タイプ: 社寺林

含まれる小生態系: -



面積: 5.3 (ha)

## ■概要

北山や甲山山麓の広田山に位置し、周辺は住宅地となっています。アラカシなどの照葉樹、コナラ、アベマキなどの夏緑樹が混生して樹林を形成しています。境内には、約2万株と推定されるコバノミツバツツジが群生しており、春には紅紫色や淡紫色の美しい花を咲かせ、市民の目を楽しませてきました。近年、植生遷移が進み、アラカシをはじめとする照葉樹が増加しつつあります。このまま放置すると林内が暗くなり、明るい環境が必要なコバノミツバツツジ群落の衰退、消失を招くおそれがあります。コバノミツバツツジ群落を良好な状態で保つためには、照葉樹の伐採などの管理を行う必要があります。兵庫県の天然記念物、西宮市の指定文化財および兵庫県版RDBのCランク(自然景観)に選定されています。

## ■植生

アラカシ群落、コナラーアベマキ群集

## ■環境を特徴づけるおもな生物

コバノミツバツツジ、アベマキ、アラカシ(植物)など

## ■法規制、指定など

県指定天然記念物



## 5 生瀬皇太神社林

ランク

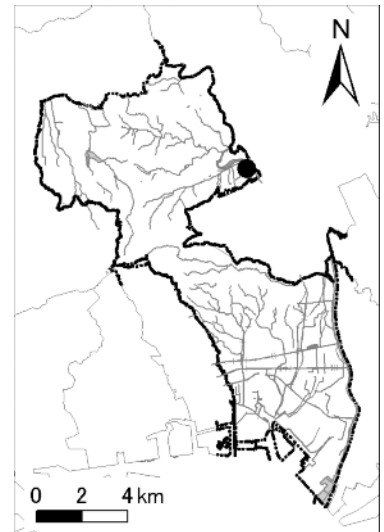
C

まち

小生態系

環境タイプ：社寺林

含まれる小生態系：-



面積： 0.3 (ha)

## ■概要

西宮市北部の武庫川に面した山麓部に位置します。高さが18mに達するシイ型の照葉樹林です。樹林は境内と道路の間の急斜面地にわずかに残されている程度で、規模は小さなものです。林内には、境内で清掃された落葉が蓄積されています。また、境内には御神木としてクスノキの大木が存在します。西宮市の景観樹林保護地区に指定されています。

## ■植生

コジイ-カナメモチ群集

## ■環境を特徴づけるおもな生物

カゴノキ、クロガネモチ(植物)など

## ■法規制、指定など

景観樹林保護地区

## 6 名塩八幡神社林

ランク

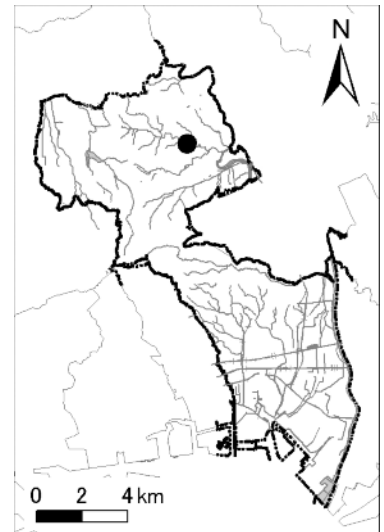
C

まち

小生態系

環境タイプ：社寺林

含まれる小生態系：-



面積： 0.6 (ha)

## ■概要

西宮市北部の名塩の山麓部に位置します。コジイが優占し、高さは20mに達するシイ型の照葉樹林です。林内の階層構造は発達し、下刈りや樹木の伐採、立ち入りの影響なども少なく、比較的、自然性の高い状態で維持されています。西宮市の景観樹林保護地区に指定されています。

## ■植生

コジイ-カナメモチ群集

## ■環境を特徴づけるおもな生物

コジイ、カナメモチ、ナナメノキ、ヤブツバキ(植物)など

## ■法規制、指定など

景観樹林保護地区

## 7 公智神社光明寺林

ランク

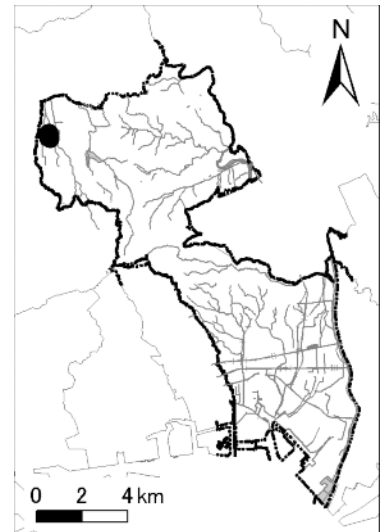
C

まち

小生態系

環境タイプ： 社寺林

含まれる小生態系： -



## ■概要

西宮市北部の山口町の丘陵部に位置します。高さが18mに達するシイ型の照葉樹林です。胸高直径が1m以上になるコジイの大木が生育しています。林内は階層構造が発達しています。下刈りや樹木の伐採、立ち入りの影響はあまり認められません。部分的にヤダケが繁茂しています。西宮市の指定文化財および景観樹林保護地区に指定されています。

## ■植生

コジイーカナメモチ群集

## ■環境を特徴づけるおもな生物

コジイ(植物)など

## ■法規制、指定など

景観樹林保護地区、市指定天然記念物

## 8 高木東熊野神社林

ランク

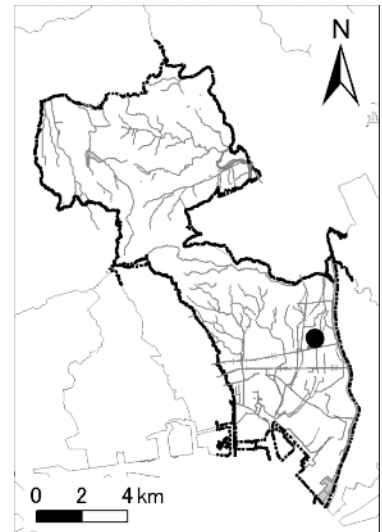
C

まち

小生態系

環境タイプ： 社寺林

含まれる小生態系： -



## ■概要

西宮市南東部の平野に位置します。周辺は住宅地や耕作地となっています。小規模な樹林ですが、下刈りや樹木の伐採はほとんど行われていないようで、階層構造は発達しています。また、林内への人の立ち入りもほとんどないようです。林床にはシュロが多く生育しており、分布拡大が懸念されます。西宮市の景観樹林保護地区に指定されています。

## ■植生

-

## ■環境を特徴づけるおもな生物

クスノキ、クロガネモチ(植物)など

## ■法規制、指定など

景観樹林保護地区



## 9 須佐之男神社林

ランク

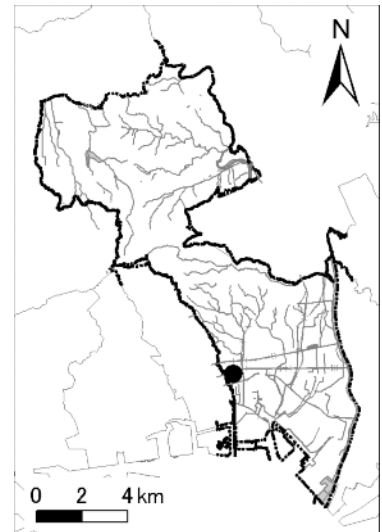
C

まち

小生態系

環境タイプ：社寺林

含まれる小生態系：-



面積： 0.1 (ha)

## ■概要

西宮市南部の平野に位置します。周辺は住宅地となっています。都市部における樹林環境としては重要ですが、樹林面積は小さく、線状で残されているにすぎません。植栽種が多く、下刈りや樹木の伐採も行われており、生物多様性保全の面からは課題が残ります。西宮市の景観樹林保護地区に指定されています。

## ■植生

-

## ■環境を特徴づけるおもな生物

クスノキ、クロマツ(植物)など

## ■法規制、指定など

景観樹林保護地区

## 10 大手前大学林

ランク

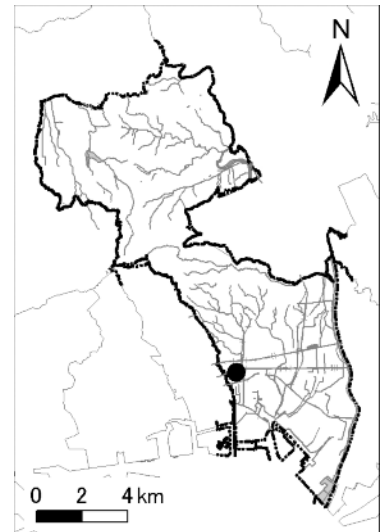
C

まち

小生態系

環境タイプ： 樹林

含まれる小生態系： -



面積： 0.2 (ha)

## ■概要

西宮市南部の平野に位置します。周辺は住宅地となっています。樹林の高さは15m前後に達し、クスノキ、アラカシなどの照葉樹や、クロマツが主体となっています。市街地における樹林環境として重要です。一方、大学の敷地内にあり、樹林の大部分は植栽種が多く、手入れも行き届いています。階層構造の発達しているのは、一部分であり、生物多様性保全の面からは課題が残ります。西宮市の景観樹林保護地区に指定されています。

## ■植生

-

## ■環境を特徴づけるおもな生物

クロマツ、クスノキ、アラカシ、イヌビワ(植物)

## ■法規制、指定など

景観樹林保護地区

## 11 大市八幡神社林

ランク

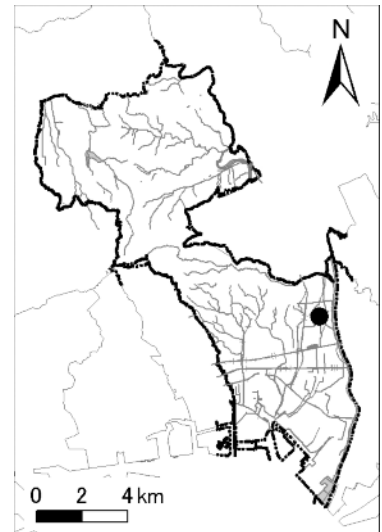
C

まち

小生態系

環境タイプ： 社寺林

含まれる小生態系： -



面積： 0.1 (ha)

## ■概要

西宮市東南部の平野に位置します。周辺は住宅地となっています。小規模な樹林で線状にしか残されていませんが、下刈りや樹木の伐採、立ち入りはほとんど行われておらず、階層構造が発達しています。植栽に由来すると考えられるサザンカが林内に多く生育しています。西宮市の景観樹林保護地区に指定されています。

## ■植生

-

## ■環境を特徴づけるおもな生物

クスノキ、ケヤキ、クロマツ(植物)など

## ■法規制、指定など

景観樹林保護地区



## 12 門戸天神社林

ランク

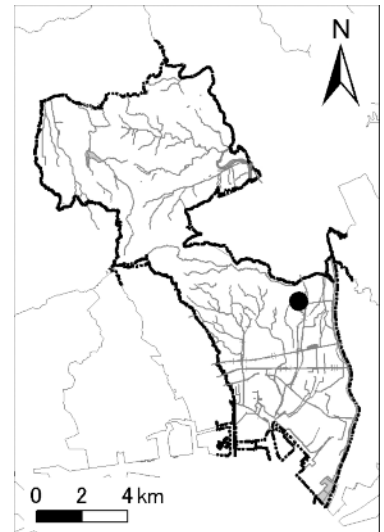
C

まち

小生態系

環境タイプ： 社寺林

含まれる小生態系： -



## ■概要

西宮市南部の上ヶ原台地の東側に位置します。周辺は住宅地となっています。シイ型の照葉樹林です。ヤマモモの大木が複数生育しています。モチツツジなど二次林に生える植物も見られることから、かつては下刈りや樹木の伐採が行われていた可能性が高いと考えられます。しかし、現在は林冠を構成する樹木は大きく生長し、人為的な攪乱も少ないようです。西宮市の景観樹林保護地区に指定されています。

## ■植生

コジイーカナメモチ群集

## ■環境を特徴づけるおもな生物

アラカシ、ヤマモモ(植物)など

## ■法規制、指定など

景観樹林保護地区



## 13 上ヶ原八幡神社林

ランク

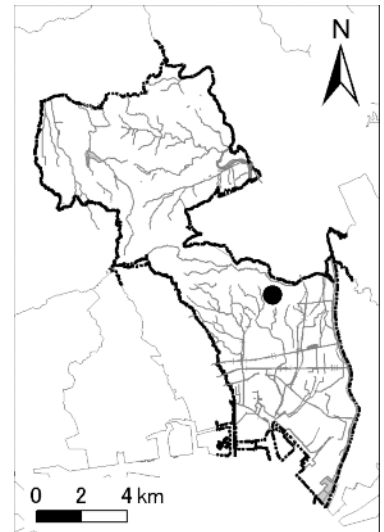
要調

まち

小生態系

環境タイプ： 社寺林

含まれる小生態系： -



## ■概要

甲山の南東側に位置します。南東側は住宅街となっており、北から東側は浄水場に隣接しています。アラカシを主体とする照葉樹林です。アベマキなど二次林の種も見られることから、かつては下刈りや樹木の伐採などが行われていた可能性が高いと考えられます。現在、林冠を構成する樹木は大きく生長していますが、林内は多少人の立ち入りの影響が見られます。

## ■植生

アラカシ群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

アラカシ、サカキ、モチノキ(植物)など

## ■法規制、指定など

—

## 14 岡田山周辺の樹林環境

ランク

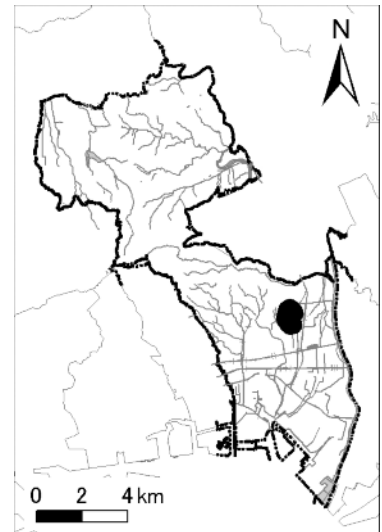
B

まち

中生態系

環境タイプ： 樹林

含まれる小生態系： 神戸女学院 岡田山林、東光寺林



面積： 19.2 (ha)

## ■概要

西宮市南部の上ヶ原台地の南東端に位置します。周辺は住宅地や耕作地となっています。重要な小生態系に位置づけられる神戸女学院 岡田山林、東光寺林を含むほか、神戸女学院大学、聖和大学敷地の樹林などが一体となり、市街地における良好な樹林環境を形成しています。

## ■植生

アラカシ群落、コナラーアベマキ群集、緑地(樹林)

## ■環境を特徴づけるおもな生物

アラカシ、ヒメユズリハ、モチノキ、カナメモチ(植物)など

## ■法規制、指定など

鳥獣保護区

## 15 神戸女学院 岡田山林

ランク

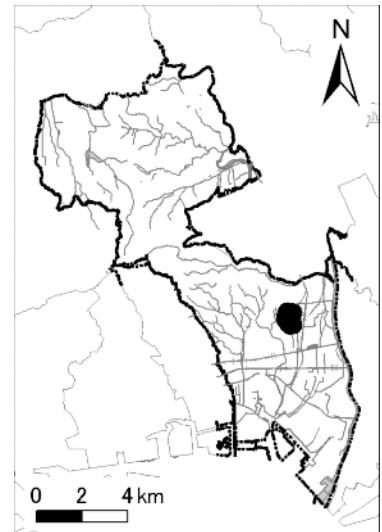
B

まち

小生態系

環境タイプ： 樹林

含まれる小生態系： -



## ■概要

西宮市南部の上ヶ原台地の南東端に位置します。周辺は住宅地や耕作地となっています。大学の施設周辺に、ヒメユズリハなどからなる照葉樹林がまとまって残されています。特に、谷門と呼ばれる東側には、発達した樹林が成立しています。また、森林内は、コヤブラン、ムサシアブミなど希少な植物の生育場所となっています。また、アオバズクなどの希少な鳥類の生息も確認されています。平成22年12月1日に景観樹林保護地区に指定されました。

## ■植生

アラカシ群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

アラカシ、ヒメユズリハ(植物)、シジウカラ、エナガ(鳥類)など

## ■法規制、指定など

景観樹林保護地区、鳥獣保護区

## 16 東光寺林

ランク

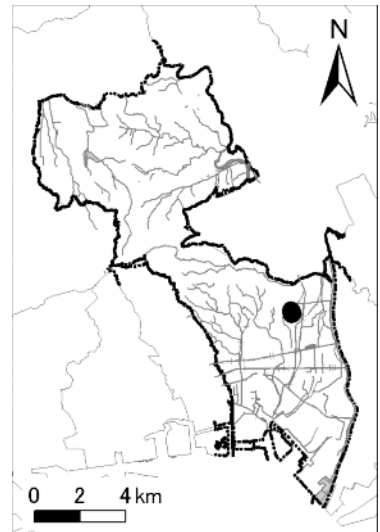
C

まち

小生態系

環境タイプ： 社寺林

含まれる小生態系： -



## ■概要

西宮市南部の上ヶ原台地の南東端に位置する門戸厄神東光寺の背後に広がる樹林です。周辺は住宅地や大学敷地となっています。アラカシなどを主体とする照葉樹林ですが、一部にアカマツやアベマキなど二次林の構成種も混生しています。西宮市の景観樹林保護地区に指定されています。

## ■植生

アラカシ群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

アカマツ、アラカシ、アベマキ、クスノキ、クロガネモチ、カナメモチ(植物)など

## ■法規制、指定など

景観樹林保護地区、鳥獣保護区



## 17 関西学院大学

ランク

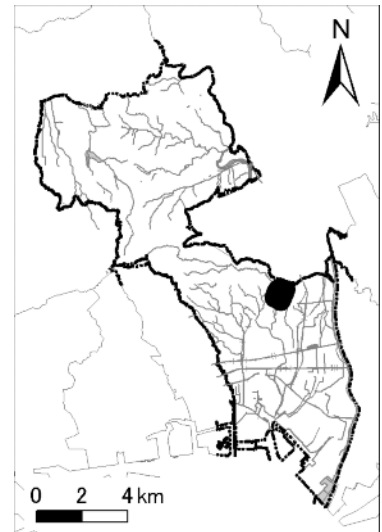
C

まち

小生態系

環境タイプ： 樹林・草地

含まれる小生態系： -



面積： 22.5 (ha)

## ■概要

西宮市南部の上ヶ原台地の南東端に位置します。周辺は住宅地となっています。手入れの行き届いた芝地の周辺部には、今では少なくなってきた在来のカンサイタンポポや希少種のイヌノフグリなどの植物が生育しています。また、学内には、保護樹木に指定されたクスノキやユーカリの大木が生育しています。周辺の水路では、ゲンジボタルを観察することもできます。

## ■植生

-

## ■環境を特徴づけるおもな生物

クスノキ、カンサイタンポポ(植物)、ゲンジボタル(昆虫類)など

## ■法規制、指定など

鳥獣保護区

## 18 上甲東園1号緑地

ランク

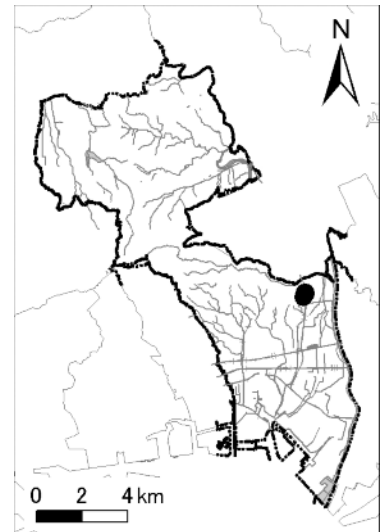
要調

まち

小生態系

環境タイプ： 樹林

含まれる小生態系： -



面積： 0.5 (ha)

## ■概要

西宮市南部の上ヶ原台地の東側に位置します。斜面地に残された樹林で、周辺は住宅地となっています。樹林の高さは20m前後に達し、クスノキ、クロマツ、コナラ、ムクノキの大木が見られます。急傾斜であることもあり、人の立ち入りの影響は認められません。また、地表面には落ち葉などが堆積しており、比較的、自然に近い状態で保たれています。

## ■植生

クスノキ群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

クスノキ、ムクノキ、アラカシ(植物)、アオスジアゲハ(昆虫類)など

## ■法規制、指定など

鳥獣保護区

## 19 満池谷墓地越水場林

ランク

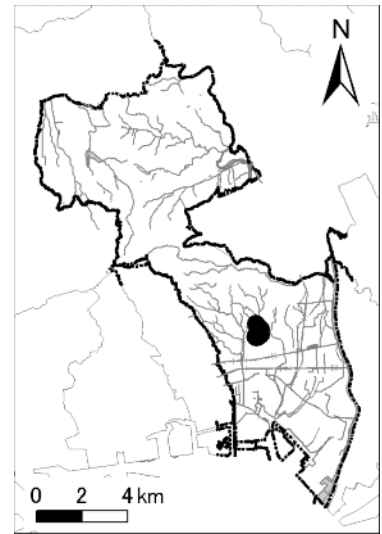
C

まち

小生態系

環境タイプ： 樹林

含まれる小生態系： -



面積： 1.7 (ha)

## ■ 概要

満池谷墓地の周辺に残された樹林です。コナラなどを主体とした夏緑二次林です。西宮市の景観樹林保護地区に指定されています。

## ■ 植生

コナラーアベマキ群集

## ■ 環境を特徴づけるおもな生物

コナラ(植物)など

## ■ 法規制、指定など

景観樹林保護地区

## 20 武庫川学院甲子園会館林

ランク

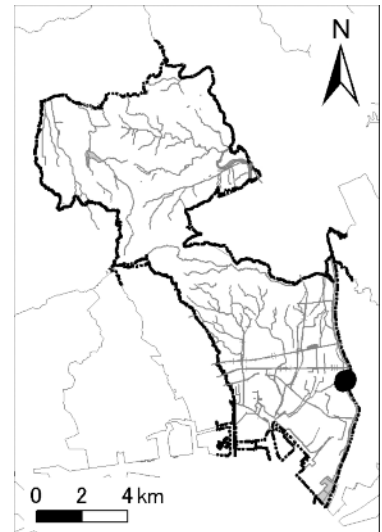
要調

まち

小生態系

環境タイプ： 樹林

含まれる小生態系： -



面積: 2.8 (ha)

## ■概要

西宮市南東部の平野に位置します。周辺は市街地となっています。樹林の高さは15～20mに達し、クスノキ、アラカシなどの照葉樹や、クロマツが主体となっています。また、武庫川に近い立地を反映して、エノキ、ムクノキ、センダンなど、河畔林で見られる落葉樹も混生しています。甲子園会館の敷地にトウネズミモチが植栽されており、林内への分布拡大が懸念されます。

## ■植生

クスノキ群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

クロマツ、クスノキ、アラカシ、クロガネモチ、エノキ、ムクノキ、センダン(植物)

## ■法規制、指定など

-



## 21 生瀬万燈籠山林

ランク

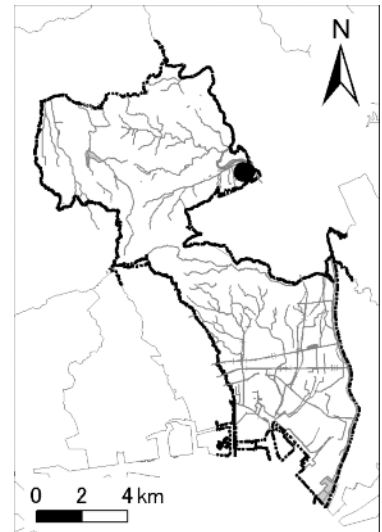
要調

まち

小生態系

環境タイプ： 樹林

含まれる小生態系： -



面積： 1.2 (ha)

## ■概要

西宮市北東部の山麓部に位置します。アベマキを主体とする夏緑二次林です。一方、クスノキ、ナナメノキなどの照葉樹も点在しています。林内は、アラカシなどの照葉樹が多く、やや暗い状況です。こうした薄暗い林床に、個体数は少ないものの、自然性の高い照葉樹林で見られるアリドオシが生育していることは注目されます。一方、斜面下部にモウソウチクが見られ、拡大が懸念されます。西宮市の景観樹林保護地区に指定されています。

## ■植生

コナラーアベマキ群集

## ■環境を特徴づけるおもな生物

アベマキ、アラカシ、ナナメノキ、アリドオシ(植物)など

## ■法規制、指定など

景観樹林保護地区

## 22 山口町船坂の冷温帯域

ランク

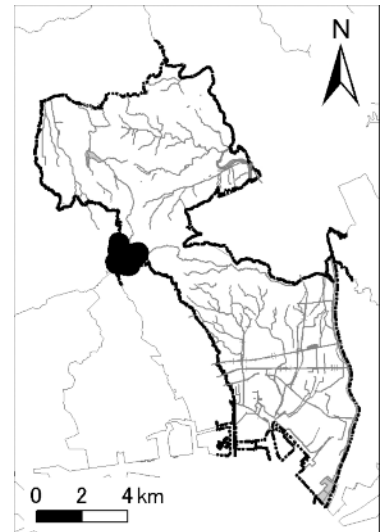
C

山

中生態系

環境タイプ： 樹林

含まれる小生態系： -



面積: 40.3 (ha)

## ■概要

六甲山系の海拔750m以上の山地上部に広がっています。これらの場所は潜在的にブナ林が成立する立地です。西宮市内に、ブナ林が成立する立地が存在するという点では、非常に重要な生態系です。林内には、ミズナラ、コハウチワカエデ、スズタケなどのブナ林を生育の中心とする植物が見られます。

## ■植生

アカマツーモチツツジ群集、コナラーアベマキ群集

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ミズナラ、クマシデ、スズタケ(植物)

## ■法規制、指定など

国立公園

## 23 白水峡

ランク

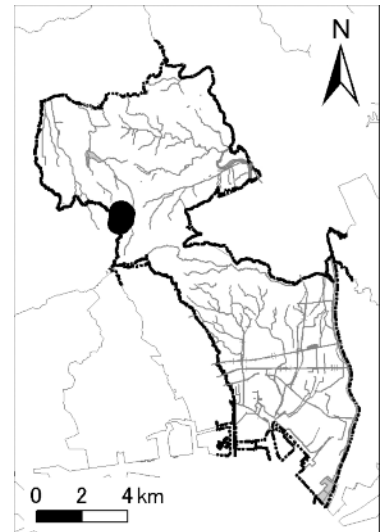
C

山

中生態系

環境タイプ：崩壊地

含まれる小生態系：-



面積： 20.8 (ha)

## ■概要

西宮市北部の山口町船坂に位置します。六甲断層の動きにより破碎された岩石が風化を受け、激しく浸食された山腹や、切り立った崖が見られるなど、バッドランドとも呼ばれる独特の景観となっています。そのため、森林は発達せず、アカマツの低木林やススキ草原がわずかに見られる程度です。特徴的な景観を生み出した地形、地質は、「兵庫県版レッドリスト2011」のAランクに、自然景観はCランクに選定されています。

## ■植生

アカマツーハナゴケ群落、ススキ群落、アカマツーモチツツジ群集、コナラーアベマキ群集、自然裸地

## ■環境を特徴づけるおもな生物

アカマツ、トダシバ、ガンピ、アキノキリンソウ、リンドウ(植物)など

## ■法規制、指定など

国立公園

## 24 蓬萊峡

ランク

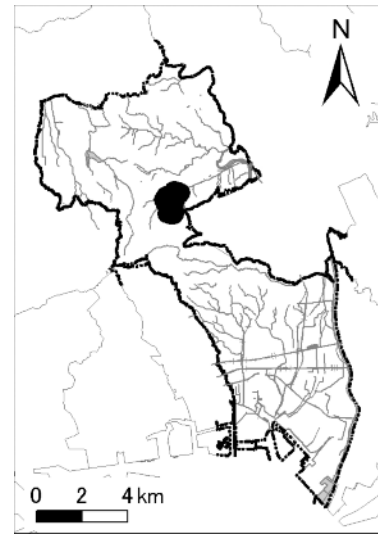
C

山

中生態系

環境タイプ：崩壊地

含まれる小生態系：-



面積： 43.2 (ha)

## ■概要

塩瀬町名塩および山口町船坂に位置します。六甲断層の動きにより破碎された岩石が風化を受け、激しく浸食された山腹や、切り立った崖が見られるなど、バッドランドとも呼ばれる独特の景観となっています。そのため、森林は発達せず、アカマツの低木林やススキ草原がわずかに見られる程度です。特徴的な景観を生み出した地形、地質は、「兵庫県版レッドリスト2011」のAランクに、自然景観はBランクに選定されています。

## ■植生

アカマツーハナゴケ群落、ススキ群落、アカマツーモチツツジ群集、コナラーアベマキ群集、自然裸地

## ■環境を特徴づけるおもな生物

アカマツ、ススキ(植物)、イノシシ、テン(哺乳類)など

## ■法規制、指定など

国立公園



## 25 剣谷湿原周辺

ランク

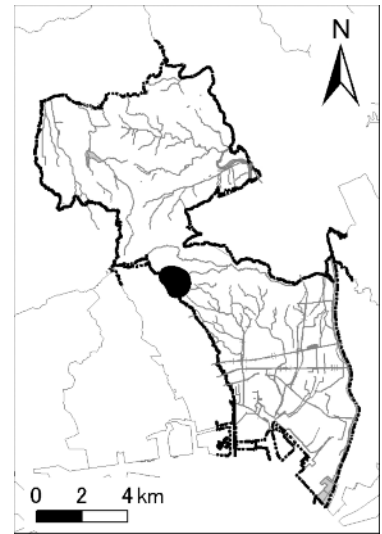
B

山

中生態系

環境タイプ： 湿原・池沼・樹林

含まれる小生態系： 剣谷湿原、剣谷のため池、北奥池



面積： 23.3 (ha)

## ■概要

西宮市西部のごろごろ岳北側の海拔約500～550mの範囲に位置します。地形はなだらかで、おもにアカマツ林が広がっています。重要な小生態系である剣谷湿原、ため池、北奥池を含んでいます。点在する湿原にはカキラン、サギソウなどの湿原生植物や、ハッチョウトンボ、カスミサンショウウオなどの湿地に特有な希少生物が多数見られます。一方、北奥池には外来の水生植物エフクレタヌキモが繁茂しており、周辺の湿原の水たまりにも分布を広げているのを確認しました。今後の分布拡大や在来種への影響が懸念されます。湿原周辺は、西宮市の自然保護地区に指定されています。

## ■植生

ヌマガヤオーダー(ヌマガヤ群落、イトイヌノハナヒゲ群落)、アカマツーモチツツジ群集、コナラーアベマキ群集、

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ヌマガヤ、ベニドウダン(植物)、オオミズゴケ(コケ植物)、カワモズク(紅藻類)など

## ■法規制、指定など

自然保護地区、国立公園、鳥獣保護区

## 26 剣谷湿原

ランク

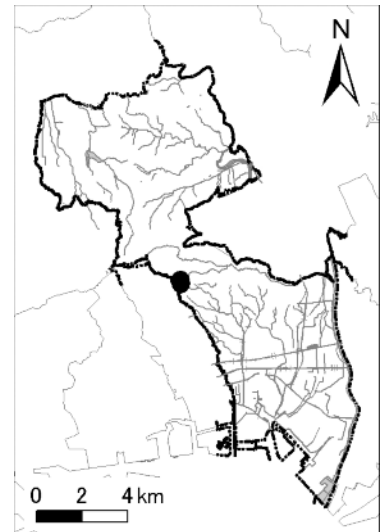
C

山

小生態系

環境タイプ： 湿原

含まれる小生態系： -



面積： 0.3 (ha)

## ■概要

湿原のほぼ全域をオオミズゴケが覆い、ヌマガヤ、イヌノハナヒゲなどが目立ちます。また、モウセンゴケ、ミカキグサ類などの湿原を特徴づける植物が生育しています。かつて六甲山系に点在していた小規模な湿原が、開発や植生遷移の進行でほとんど姿を消す中、大変貴重な存在です。

## ■植生

ヌマガヤオーダー(ヌマガヤ群落、イトイヌノハナヒゲ群落)

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ヌマガヤ(植物)、オオミズゴケ(コケ植物)など

## ■法規制、指定など

自然保護地区、国立公園、鳥獣保護区

## 27 剣谷のため池

ランク

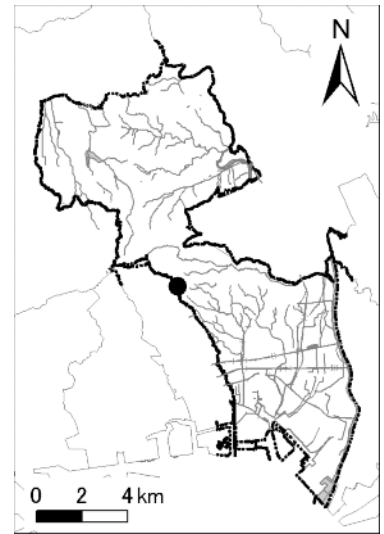
C

山

小生態系

環境タイプ：池沼

含まれる小生態系：-



## ■概要

尾根に近い場所に位置します。雨水を水源としているため、水位は安定していないようです。水面には浮葉植物のヒルムシロ類が見られます。2011年の調査時には、外来の水生植物エフクレタヌキモは確認できませんでした。ため池およびその周辺は、西宮市の自然保護地区に指定されています。

## ■植生

ヒルムシロクラス

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ヒルムシロ類(植物)、ガムシ(昆虫類)、ツチガエル(両生類)など

## ■法規制、指定など

鳥獣保護区



## 28 北奥池

ランク

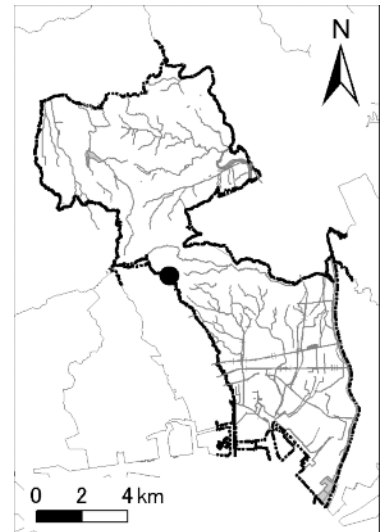
C

山

小生態系

環境タイプ：池沼

含まれる小生態系： -



面積: 0.3 (ha)

## ■概要

西宮市西部のごろごろ岳の北西に位置し、芦屋市の奥池に隣接しています。水面はジュンサイで覆われていますが、外来種のエフクレタヌキモも目立ちます。エフクレタヌキモは繁殖力が強く、在来種への影響が懸念されます。流入部にはオオミズゴケなどの生育する小規模な湿原が見られますが、周辺樹林の高林化にともない、日陰となることから、衰退が懸念されます。

## ■植生

ヒルムシロクラス

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ジュンサイ(植物)、エフクレタヌキモ(外来植物)など

## ■法規制、指定など

鳥獣保護区



## 29 甲山周辺(森林公園, 神呪寺等)

ランク

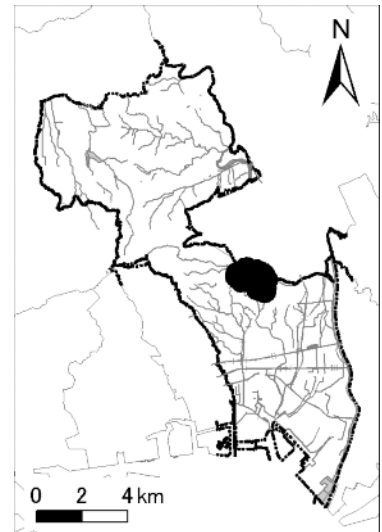
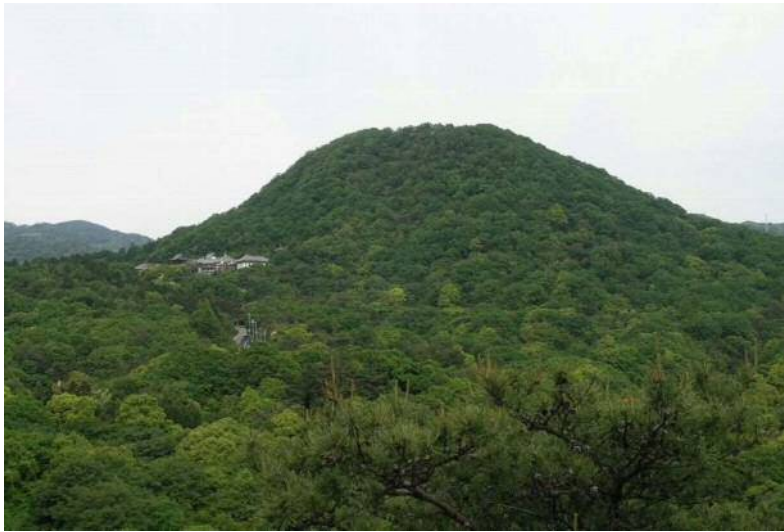
A

山

中生態系

環境タイプ: 湿原・樹林

含まれる小生態系: 甲山湿原



面積: 102 (ha)

## ■概要

西宮市を代表する甲山の周辺に広がる環境です。アカマツーモチツツジ群集やコナラーアベマキ群集などの二次林のほか、南東側の山麓にはアラカシなどの優占する照葉樹林も見られます。また、重要な小生態系に位置づけられる甲山湿原も見られます。甲山は、まるみを帯びた形状が特徴的な山で、市南部の各地から眺望できることから、西宮のランドマークとして親しまれています。また、甲山安山岩からなる侵食火山地形(残丘)は、「兵庫県版レッドリスト2011」のAランクに、自然景観はBランクに選定されています。

## ■植生

アカマツーモチツツジ群集、コナラーアベマキ群集、シイ・カシ二次林、ヌマガヤオーダー(ヌマガヤ群落、イトイヌノハナヒゲ群落)、竹林

## ■環境を特徴づけるおもな生物

コバノミツバツツジ、コナラ、ヒサカキ(植物)、マイマイカブリ、クロコノマチョウ(昆虫類)、キベリハムシ(外来昆虫類)など

## ■法規制、指定など

生物保護地区、市指定天然記念物、鳥獣保護区

## 30 甲山湿原

ランク

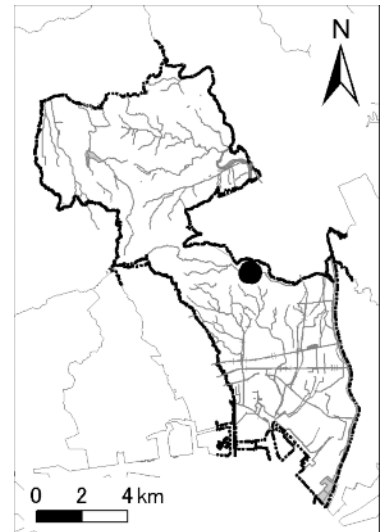
B

山

小生態系

環境タイプ： 湿原

含まれる小生態系： -



面積： 3.7 (ha)

## ■概要

甲山の北東山麓の地下水がしみ出るような場所に成立する湿原です。ノハナショウブ、トキソウなどの希少な植物やヒメタイコウチのほか、モウセンゴケなどの食虫植物、ヌマガヤ、ミカヅキグサなどの寒地性の植物が生育・生息しています。湿原としての良好な状態を保つため、間伐、落ち葉かきなどの取り組みが行われています。西宮市の生物保護地区に指定されているほか、「兵庫県版レッドリスト2010」では、湿地植物群落がAランクに、湿原生態系は、「兵庫県版レッドリスト2011」のBランクに選定されています。

## ■植生

ヌマガヤオーダー(ヌマガヤ群落、イトイヌノハナヒゲ群落)

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ヌマガヤ、ミカキグサ、ウメバチソウ(植物)など

## ■法規制、指定など

生物保護地区、市指定天然記念物、鳥獣保護区

## 31 仁川緑地

ランク

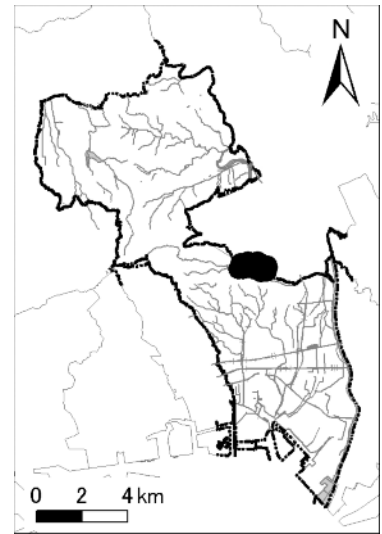
B

山

中生態系

環境タイプ： 樹林・湿原

含まれる小生態系： -



面積： 42.7 (ha)

## ■概要

甲山の北西、仁川の左岸側に位置する緑地です。尾根や斜面上部には、アカマツの低木林や自然裸地が広がるやや荒れたような景観が広がっています。谷筋など湧水の見られる立地では、小規模な湿原が成立し、カキラン、ノハナショウブなどの湿地性の希少種も見られます。西宮市の自然保護地区に指定されています。

## ■植生

アカマツーモチツツジ群集、アカマツ群落、コナラーアベマキ群集

## ■環境を特徴づけるおもな生物

アカマツ、コバノミツバツツジ、トダシバ、アキノキリンソウ、ヌマガヤ(植物)、コムラサキ、ミズイロオナガシジミ(昆虫類)など

## ■法規制、指定など

自然保護地区、鳥獣保護区

## 32 北山公園

ランク

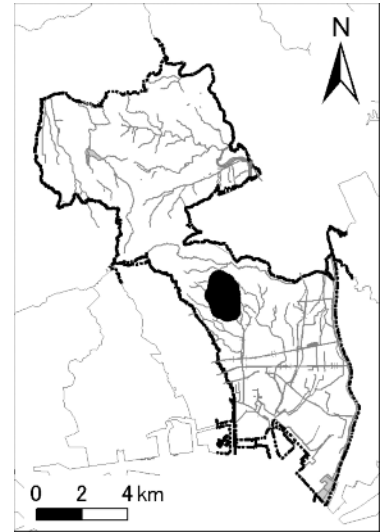
B

山

中生態系

環境タイプ： 樹林・池沼

含まれる小生態系： -



面積： 75 (ha)

## ■概要

甲山の南西側に位置する広大な緑地です。北山緑化植物園が併設されており、緑地とともに多くの市民に利用されています。緑地内の樹林は、大部分がコナラやアカマツの二次林で占められています。また、林床にはウラジロやコシダなどが群生しています。谷筋などで水のしみ出す明るい場所では、コモウセンゴケなどの湿地生の希少種が確認されています。

## ■植生

コナラーアベマキ群集、アカマツーモチツツジ群集、シイ・カシ二次林、スギーヒノキ群集

## ■環境を特徴づけるおもな生物

アカマツ、コナラ、コバノミツバツツジ、コシダ、アキノキリンソウ(植物)など

## ■法規制、指定など

鳥獣保護区



## 33 社家郷山の里山環境

ランク

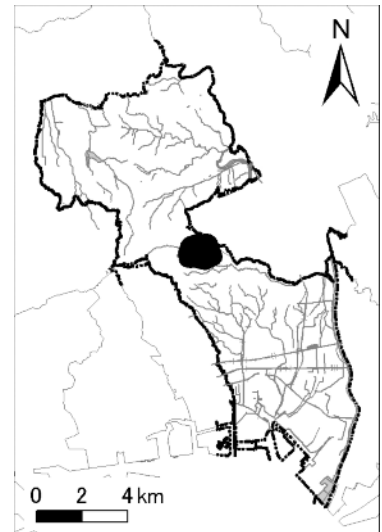
B

山

中生態系

環境タイプ： 樹林

含まれる小生態系： -



面積: 68.2 (ha)

## ■概要

六甲山系の東端部に位置します。山域の大部分をコナラ林が占め、斜面上部にアカマツ林が広がっています。また、尾根部の露岩地には、アカマツの低木林が見られます。ヒメヘビイチゴ、ミヤマクマワラビなどの植物や、モリアオガエルなどの希少生物が生育、生息しています。2008年度より、コブこうべにより、明るく多様な生物が生育できる落葉広葉樹林を目標とした森林整備活動が進められています。

## ■植生

コナラーアベマキ群集、アカマツーモチツツジ群集、チガヤ群落など

## ■環境を特徴づけるおもな生物

コナラ、コバノミツバツツジ、ササユリ(植物)、オオルリ(鳥類)など

## ■法規制、指定など

保安林(一部)

## 34 ナシオン創造の森(国見台1号緑地)

ランク

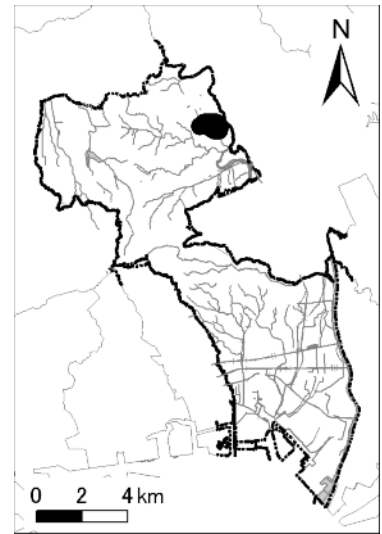
要調

山

中生態系

環境タイプ： 樹林

含まれる小生態系： -



面積： 17.5 (ha)

## ■概要

西宮市東山台の北東側に位置します。斜面下部はおもにコナラーアベマキ群集で占められ、斜面上部に、アカマツーモチツツジ群集がみられます。東山台を開発した住宅都市公団が「住民のふれあいのための里山」として位置づけたことに始まり、現在では、ナシオン創造の森育成会により、生物多様性の保全・回復を目的とした森林整備活動が進められています。

## ■植生

コナラーアベマキ群集、アカマツーモチツツジ群集

## ■環境を特徴づけるおもな生物

アカマツ、コバノミツバツツジ(植物)など

## ■法規制、指定など

-

## 35 東久保の棚田

ランク

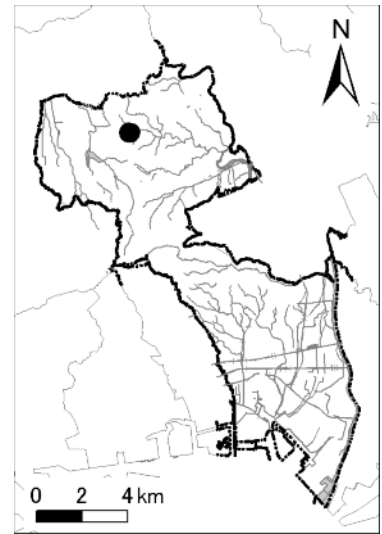
要調

山

小生態系

環境タイプ： 里地

含まれる小生態系： -



## ■概要

西宮市北部の塩瀬町名塩に位置します。山麓部に基盤整備が行われていない棚田が広がっています。畦畔には、リンドウ、ワレモコウなどの草原生植物のほか、湿原の周辺部で見られるウメバチソウなども生育しています。

## ■植生

チガヤ群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ワレモコウ、ウメバチソウ、リンドウ(植物)など

## ■法規制、指定など

—

## 36 名塩赤坂の農村環境

ランク

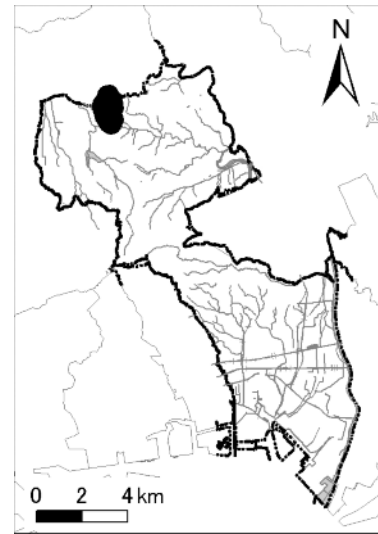
C

山

中生態系

環境タイプ： 里地・里山

含まれる小生態系： 名塩赤坂の棚田、名塩赤坂の水田、名塩赤坂のハンノキ林、名塩赤坂の湿地環境



面積： 53.9 (ha)

## ■概要

西宮市北部の塩瀬町名塩赤坂に位置します。周辺の山地はおもにアカマツーモチツツジ群集で占められ、山麓部にコナラーアベマキ群集がみられます。重要な小生態系に位置づけられる、名塩赤坂の水田、ハンノキ林、湿地環境を含むなど、良好な農村環境を形成しています。

## ■植生

アカマツーモチツツジ群集、コナラーアベマキ群集、チガヤ群落、水田雑草群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ワレモコウ、リンドウ、オミナエシ、マアザミ、チガヤ、アキノキリンソウ(植物)など

## ■法規制、指定など

—



## 37 名塩赤坂の水田

ランク

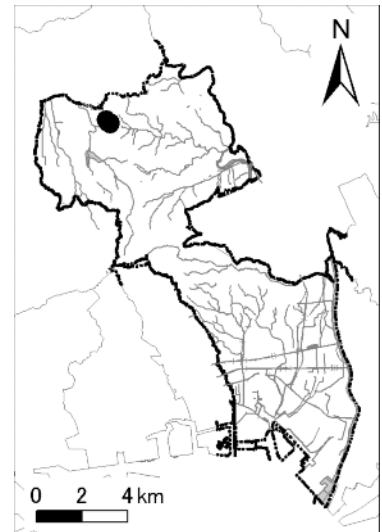
要調

山

小生態系

環境タイプ： 里地

含まれる小生態系： -



面積： 5.7 (ha)

## ■概要

西宮市北部の塩瀬町名塩赤坂に位置します。基盤整備の行われていない棚田の畦畔には、スズサイコなどの希少な植物のほか、アキノキリンソウ、ワレモコウなどの草原生植物が多数生育しています。また、水がしみ出して湿潤な畦畔では、ミズスギ、マアザミなどの湿原に生育する植物がみられます。

## ■植生

チガヤ群落、水田雑草群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ワレモコウ、リンドウ、オミナエシ、マアザミ、チガヤ、アキノキリンソウ(植物)など

## ■法規制、指定など

—

## 38 名塩赤坂のハンノキ林

ランク

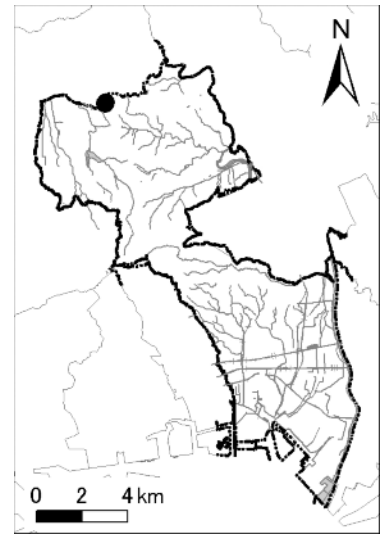
要調

山

小生態系

環境タイプ： 湿原

含まれる小生態系： -



面積： 0.1 (ha)

## ■ 概要

塩瀬町名塩赤坂の谷沿いの湿潤地には、ハンノキ林が成立しています。林床にはコケ植物のオオミズゴケが広がっているほか、ミズギボウシなどの希少な湿性植物が生育しています。カスミサンショウウオ、モリアオガエルなどの両生類が生息する可能性があり、適切な時期に詳細な調査が望まれます。

## ■ 植生

ハンノキ群落、ヌマガヤオーダー(ヌマガヤ群落)

## ■ 環境を特徴づけるおもな生物

ハンノキ、ヌマガヤ(植物)、オオミズゴケ(コケ植物)など

## ■ 法規制、指定など

-

## 39 名塩赤坂の湿地環境

ランク

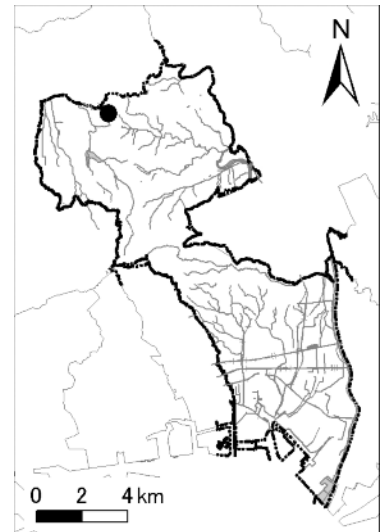
要調

山

小生態系

環境タイプ： 湿原

含まれる小生態系： -



## ■ 概要

塩瀬町名塩赤坂の谷浴いやため池の周辺部に、小規模な湧水がみられます。そのような場所には、コケ植物のオオミズゴケが広がっているほか、サワシロギク、ミズギボウシ、ヤマトキソウなどの希少な植物も生育しています。

## ■ 植生

ヌマガヤオーダー（オオミズゴケ群落）

## ■ 環境を特徴づけるおもな生物

イヌノハナヒゲ（植物）、オオミズゴケ（コケ植物）など

## ■ 法規制、指定など

—

## 40 名塩湖畔の湿地環境

ランク

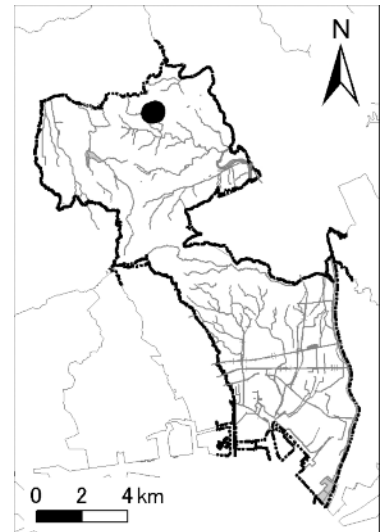
C

山

中生態系

環境タイプ： 湿原・池沼・樹林

含まれる小生態系： 名塩湖畔の湿地、名塩湖畔のハンノキ林、塩瀬町名塩のため池、塩瀬町名塩の湿地



面積： 5.1 (ha)

## ■概要

西宮市北部の塩瀬町に位置します。高倉山の西側にある人工湖の名塩湖周辺に湿地環境が広がっています。重要な小生態系に位置づけられる、名塩湖畔の湿地、ハンノキ林、塩瀬町名塩のため池、湿地を含みます。立地環境に応じて、ハンノキ群落、ガマ群落、ヒシ群落など多様な植生が成立し、水域から陸域までの連続性が良好に保たれています。他にも、湿性植物群落や浮葉植物群落など、多様な植生が見られます。尾根沿いの開けた場所にはオミナエシなどの草原生植物の生育するススキ草原が見られます。また、周辺のアカマツモチツツジ群集やアカマツ群落では、和紙の原料として用いられてきたガンピも多く生育しています。

## ■植生

アカマツモチツツジ群集、ススキ群落、ハンノキ群落、ガマ群落、ヒシ群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ハンノキ、カンガレイ、ヒルムシロ、ガンピ、オミナエシ(植物)など

## ■法規制、指定など

—



## 41 名塩湖畔の湿地

ランク

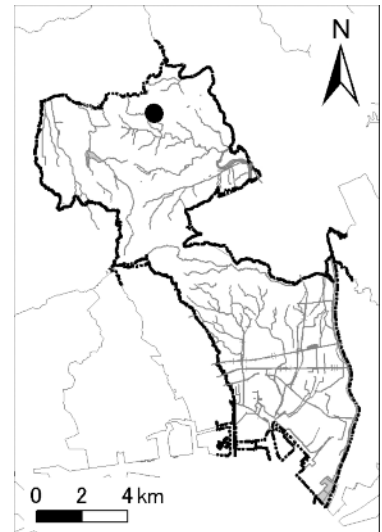
要調

山

小生態系

環境タイプ： 湿原

含まれる小生態系： -



面積： 0.1 (ha)

## ■概要

西宮市北部の塩瀬町に位置します。人工湖の名塩湖の水際や小河川の流入部周辺には、湿った立地が広がっています。このような湿性には、ガマ群落広がるほか、カンガレイ、サンカクイなどの抽水植物も見られます。

## ■植生

ガマ群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ガマ、カンガレイ、チゴザサ、ミズオトギリ(植物)など

## ■法規制、指定など

—

## 42 名塩湖畔のハンノキ林

ランク

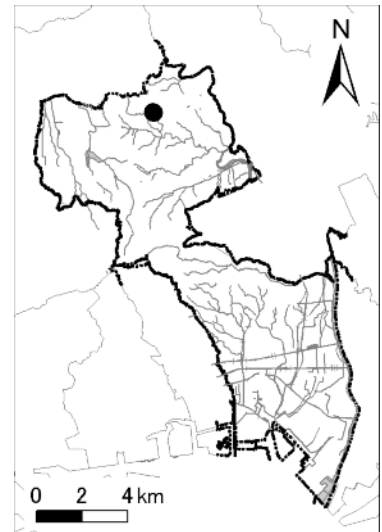
要調

山

小生態系

環境タイプ： 湿原

含まれる小生態系： -



面積： 0.2 (ha)

## ■概要

西宮市北部の塩瀬町に位置します。人工湖の名塩湖周辺の湿った立地に、ハンノキ林が成立しています。林床にはシロバナサクラタデ、サヤマカグサなどの湿性植物がみられます。カスミサンショウウオ、モリアオガエルなどの両生類が生息する可能性があり、適切な時期に詳細な調査が望まれます。

## ■植生

ハンノキ群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ハンノキ、シロバナサクラタデ(植物)など

## ■法規制、指定など

—

## 43 塩瀬町名塩のため池

ランク

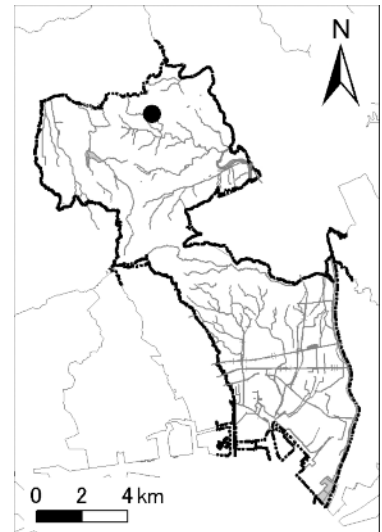
要調

山

小生態系

環境タイプ：池沼

含まれる小生態系： -



面積： - (ha)

## ■概要

西宮市北部の塩瀬町の山間部に小規模なため池が点在しています。水面にはヒルムシロなどの生育する浮葉植物群落が見られ、水際には、ニッポンイヌノヒゲなどの低茎草本が生育しています。希少な昆虫類などが生息する可能性もあり、適切な時期に詳細な調査が望まれます。

## ■植生

浮葉植物群落 (ヒルムシロ群落)

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ヒルムシロ、カンガレイ、ニッポンイヌノヒゲ(植物)など

## ■法規制、指定など

-



## 44 塩瀬町名塩の湿地環境

ランク

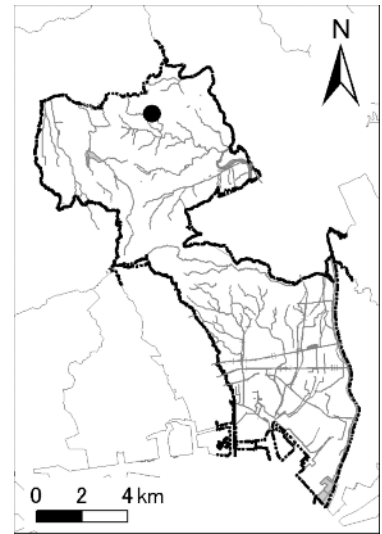
要調

山

小生態系

環境タイプ： 湿原

含まれる小生態系： -



面積： - (ha)

## ■概要

西宮市北部の塩瀬町に位置します。傾斜の緩やかな山地斜面に湧水で涵養された小規模な湿地が見られます。希少な植物の生育は確認できませんでしたが、カリマタガヤなど、湿原特有の低茎草本が生育しています。潜在的にイヌノハナヒゲ類やモウセンゴケなどの生育も可能な立地です。周辺部も含めて詳細な調査が望まれます。

## ■植生

カリマタガヤ群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

カリマタガヤ、アリノウグサ(植物)など

## ■法規制、指定など

—



## 45 塩瀬町名塩美山の農村環境

ランク

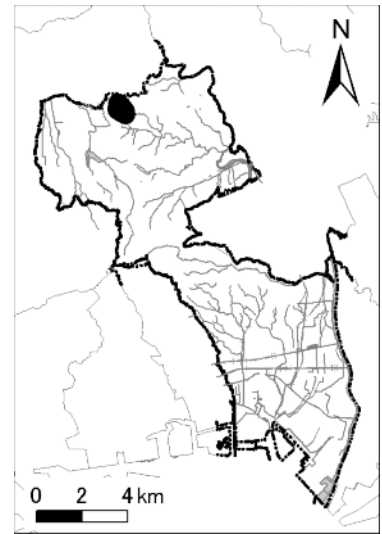
要調

山

中生態系

環境タイプ： 里地・里山

含まれる小生態系： 塩瀬町名塩の水田



## ■概要

西宮市北部の塩瀬町名塩に位置します。重要な小生態系に位置づけられる塩瀬町名塩美山の水田を含みます。周辺にはアカマツーモチツツジ群集などからなる里山が広がっているほか、草原生植物が多数生育する畦畔もみられ、良好な農村環境を形成しています。

## ■植生

アカマツーモチツツジ群集、チガヤ群落、水田雑草群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

シラヤマギク、アキノキリンソウ、センブリ、センボンヤリ、オガルカヤ(植物)など

## ■法規制、指定など

—

## 46 塩瀬町名塩の水田

ランク

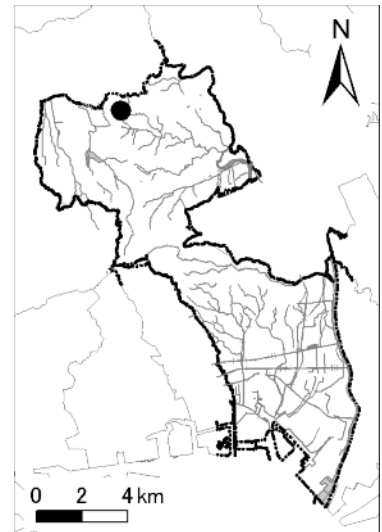
要調

山

小生態系

環境タイプ： 里地

含まれる小生態系： -



## ■概要

西宮市北部の塩瀬町名塩に位置します。基盤整備の行われていない耕作地が広がっています。畦畔には、ウツボグサ、ヤマラッキョウ、アキノキリンソウなどの草原生植物が多数生育しています。また、晩秋に水を落とした水田内には、キカシグサ、キクモなどの今では見かけることの少なくなった小型の草本が生育しています。

## ■植生

チガヤ群落、水田雑草群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

キクモ、ミヅカクシ、トキンソウ、キカシグサ(植物)など

## ■法規制、指定など

—

## 47 山口町名来の農村環境

ランク

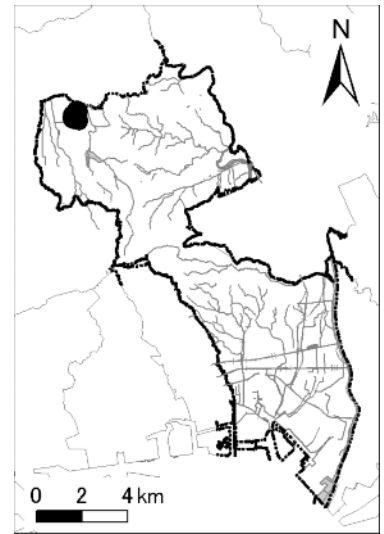
C

山

中生態系

環境タイプ： 里地・里山

含まれる小生態系： 山口町名来の棚田



面積： 9.5 (ha)

## ■概要

西宮市北部の山口町に位置します。重要な小生態系に位置づけられる山口町名来の棚田を含みます。周辺にはアカマツーモチツツジ群集やコナラーアベマキ群集などからなる里山が広がっているほか、草原生植物が多数生育する畦畔もみられ、良好な農村環境を形成しています。

## ■植生

アカマツーモチツツジ群集、コナラーアベマキ群集、チガヤ群落、水田雑草群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ツリガネニンジン、メドハギ、ミツバツチグリ、ヤマハッカ(植物)など

## ■法規制、指定など

—

## 48 山口町名来の棚田

ランク

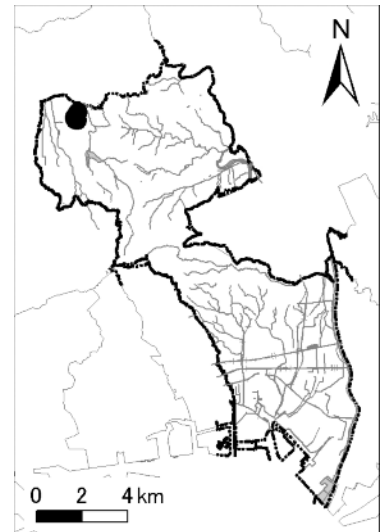
要調

山

小生態系

環境タイプ： 里地

含まれる小生態系： -



面積： 2.5 (ha)

## ■概要

西宮市北部の山口町に位置します。基盤整備の行われていない棚田が広がっています。棚田の畦畔には、スズサイコなどの希少な植物のほか、ツリガネニンジン、ワレモコウ、ノアザミなどの草原生植物が生育しています。

## ■植生

チガヤ群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ツリガネニンジン、メドハギ、ミツバツチグリ、ヤマハッカ(植物)など

## ■法規制、指定など

—



## 49 山口町船坂の棚田

ランク

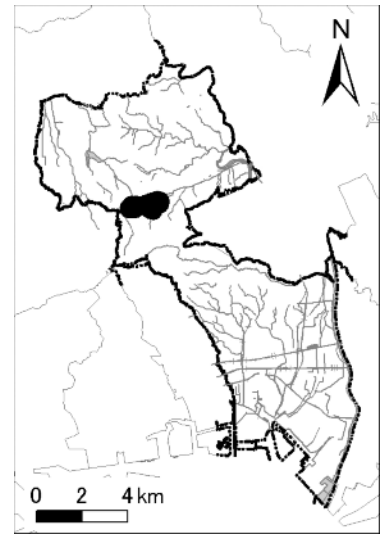
C

山

小生態系

環境タイプ： 里地

含まれる小生態系： -



面積： 17.9 (ha)

## ■概要

西宮市北部の山口町に位置します。基盤整備の行われていない棚田が広がっています。アキノキリンソウ、アキカラマツなどの草原生植物が見られます。この地区を東西方向に横切る断層は、「船坂の活断層崖」として、「兵庫県版レッドリスト2011(地形)」のBランクに選定されています。

## ■植生

チガヤ群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

アキカラマツ、オトギリソウ、ミツバツチグリ、オカトラノオ、オガルカヤ、ワレモコウ(植物)など

## ■法規制、指定など

—

## 50 鷲林寺・観音谷周辺

ランク

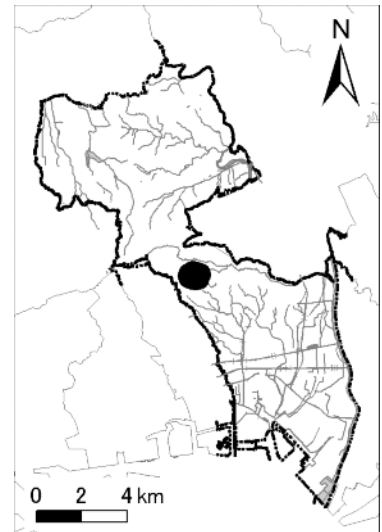
C

山

中生態系

環境タイプ： 里地・里山

含まれる小生態系： -



面積： 26.6 (ha)

## ■概要

西宮市西部の観音山から鷲林寺一帯にかけての里山環境です。山麓部にはコナラーアベマキ群集、山地斜面にはアカマツーモチツツジ群集が広がっています。また、尾根部には小規模な露岩地も見られます。山麓の耕作地には棚田が残されており、畦畔の草地には、ススキ、チガヤのほか、ワレモコウ、ツリガネニンジンなどの草原生の植物がみられます。

## ■植生

アカマツーモチツツジ群集、コナラーアベマキ群集、チガヤ群落、水田雑草群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

アカマツ、コバノミツバツツジ、コナラ、トダシバ、ワレモコウ、カワラナデシコ、アキノキリンソウ、ツリガネニンジン(植物)、エダナナフシ、オオオサムシ(昆虫類)など

## ■法規制、指定など

-

## 51 尼子谷

ランク

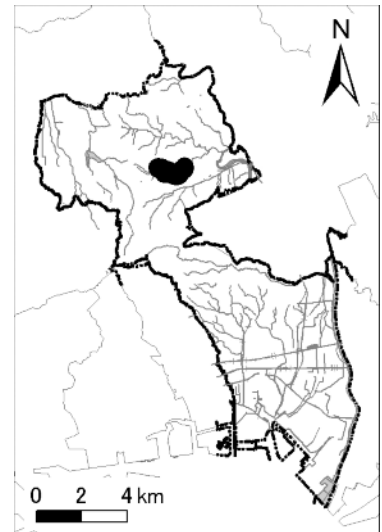
C

山

中生態系

環境タイプ： 溪谷

含まれる小生態系： -



面積： 16.8 (ha)

## ■概要

塩瀬町名塩と生瀬の境界を流れる谷です。谷筋から斜面下部にはコナラーアベマキ群集、斜面上部や尾根にはアカマツーモチツツジ群集が広がっています。谷の入り口付近は採石場となっています。谷の上流へは、一般の立ち入りは困難なため、人的影響をあまり受けない良好な自然環境が保たれている可能性があります。希少植物などの生育が指摘されていますが、詳細は不明です。今後、詳細な調査が望まれます。

## ■植生

アカマツーモチツツジ群集、コナラーアベマキ群集

## ■環境を特徴づけるおもな生物

情報不足

## ■法規制、指定など

—

## 52 金仙寺湖周辺

ランク

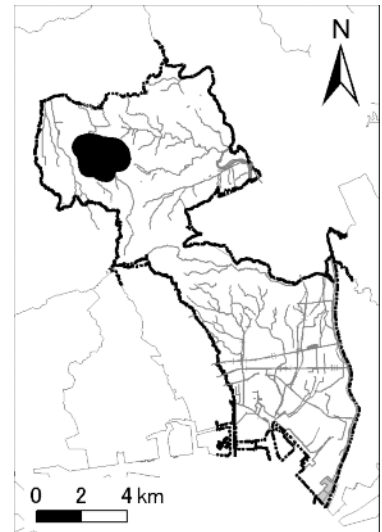
C

山

中生態系

環境タイプ： 里地・里山・池沼

含まれる小生態系： -



面積： 147 (ha)

## ■概要

金仙寺湖周辺、畑山一帯の里山環境です。アカマツーモチツツジ群集を主体とし、山麓部にはコナラーアベマキ群集が広がります。しかし、松枯れによりアカマツの枯死した林も散見されます。また、乾燥した立地ではコシダ、ウラジロなどが繁茂した場所が見られるほか、山麓部の土壌条件のよいコナラ林では、ヒサカキ、ソヨゴなど照葉樹の低木が密生し、林内が暗く、林床植生の少ない場所も見られます。

## ■植生

アカマツーモチツツジ群集、コナラーアベマキ群集、スギーヒノキ群落、ゴルフ場・芝地

## ■環境を特徴づけるおもな生物

アカマツ、コバノミツバツツジ、ガンピ、ウラジロ(植物)など

## ■法規制、指定など

-



## 53 武庫川下流の汽水域

ランク

C

川・池沼

中生態系

環境タイプ：干潟・水面

含まれる小生態系：武庫川河口の干潟



面積： 39.2 (ha)

## ■概要

武庫川の潮止め堰より下流の汽水域では、低水部のほとんどがコンクリート護岸で被われています。河川敷は緑地となっており、多くの市民が利用しています。一部にクロマツなどの樹木が点在しています。水面は広く、冬季には多くのカモ類が休息しています。河口部の一部にごくわずかな干潟環境が見られます。

## ■植生

-

## ■環境を特徴づけるおもな生物

クロマツ(植物)、ユリカモメ、ヒドリガモ、ホシハジロ(鳥類)など

## ■法規制、指定など

-

## 54 武庫川河口の干潟

ランク

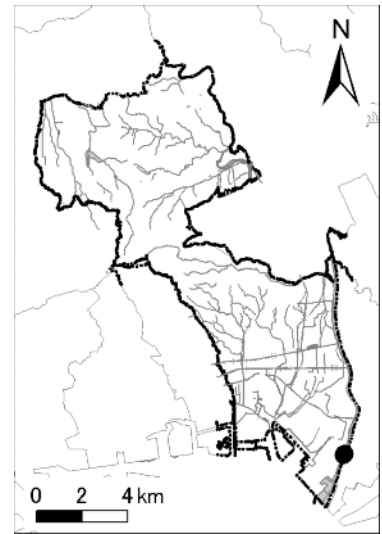
要調

川・池沼

小生態系

環境タイプ：干潟

含まれる小生態系：-



## ■概要

武庫川の河口部の低水部は、ほとんどがコンクリート護岸で被われています。しかし、水際の一部にごくわずかな面積の干潟環境が見られます。河口干潟に特有のヨシ群落やシオクグ群集などの植生は成立していませんが、干潟の生物の潜在的な生息域として注目されます。

## ■植生

-

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ケフサイソガニ(甲殻類)など

## ■法規制、指定など

-

## 55 武庫川中下流

ランク

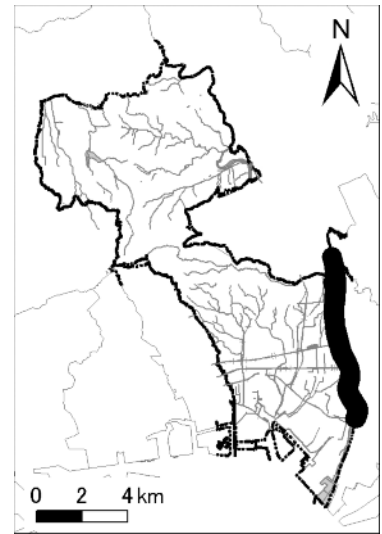
A

川・池沼

中生態系

環境タイプ： 礫原・水面・樹林

含まれる小生態系： 武庫川下流の礫原



面積： 98.1 (ha)

## ■概要

武庫川の中下流域には、重要な小生態系に位置づけられている礫原が特徴的に見られます。河川敷には、ヤナギタデ群落やヤナギ林が広がっているほか、仁川との合流点付近にはオギ群集もみられます。一方、セイバンモロコシ群落などの外来植物群落も広がっています。高水敷は公園的利用がなされており、芝地や植林されたクロマツ群落が広がる人工的な環境となっています。河川に沿って帯状に続くクロマツ群落は、人工林であっても、鳥類、昆虫類の移動経路となり、西宮市内の生態系をつなぐネットワークとして、重要な役割を果たしていると考えられます。

## ■植生

河辺林(ヤナギ林)、ヤナギタデ群落、カワラサイコ群落、オギ群集、クロマツ群落など

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ヨシ、オギ、カワヤナギ(植物)、ヌートリア(外来哺乳類)、アオサギ、コサギ(鳥類)など

## ■法規制、指定など

—

## 56 武庫川下流の礫原

ランク

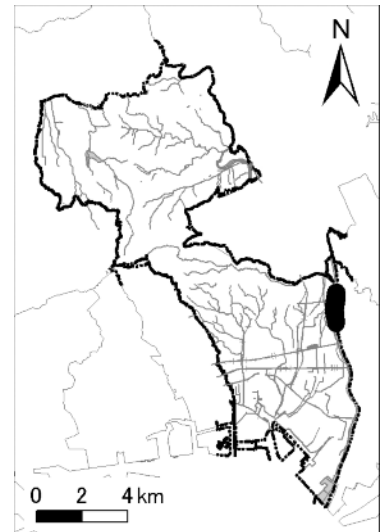
C

川・池沼

小生態系

環境タイプ： 礫原

含まれる小生態系： -



面積： 7.8 (ha)

## ■概要

武庫川中下流域には、最も川らしい景観ともいえる「礫原」が見られます。カワラの名を冠するカワラサイコやカワラヨモギが分布しているほか、鳥類の休息場や、イカルチドリ、コチドリといったチドリ類の営巣環境となっています。「兵庫県版レッドリスト2010」では、礫原に成立する河辺植生(カワラサイコ群落)が植物群落のCランクに選定されています。

## ■植生

ヤナギタデ群落、カワラサイコ群落など

## ■環境を特徴づけるおもな生物

カワラヨモギ(植物)、イカルチドリ(鳥類)など

## ■法規制、指定など

-



## 57 武庫川溪谷

ランク

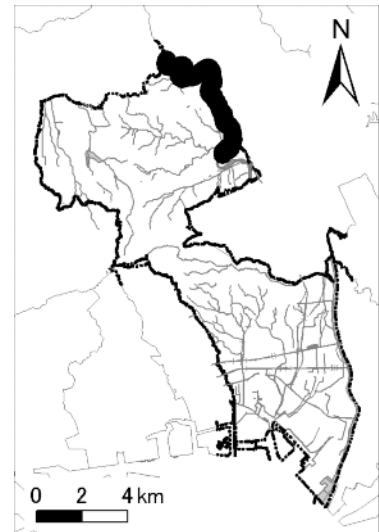
A

川・池沼

中生態系

環境タイプ： 溪谷

含まれる小生態系： -



面積： 35.8 (ha)

## ■概要

武庫川の中流部は、地形の隆起により形成された深いV字形の溪谷となっています。谷幅300～500m、谷の深さは150～200mに達します。大きな淵がたくさん見られるほか、強い水の流れにさらされる川岸の岩場には、サツキ、ツメレンゲなどの特有の植物のほか、クロツバメシジミ、アイヌハンミョウ、カワラゴミムシなどの希少な昆虫類が見られるなど、兵庫県全体から見ても貴重な環境となっています。また、溪谷に沿った鉄道の廃線跡を利用して、多くの人々が溪谷の自然景観を楽しみに訪れています。「兵庫県版レッドリスト2010」では、溪谷に成立する岩上植物群落は植物群落のAランクに選定されているほか、「兵庫県版レッドリスト2011」においても、地形、地質、自然景観が、それぞれ貴重な自然として選定されています。

## ■植生

河辺・岩上植物群落、溪流辺植物群落、アカマツモチツツジ群集、アラカシ群落、コナラアベマキ群集

## ■環境を特徴づけるおもな生物

アラカシ、オニグルミ、イブキシモツケ、カワラハンノキ(植物)、カワガラス(鳥類)、ギギ(魚類)、キベリハムシ(外来昆虫)など

## ■法規制、指定など

-

## 58 塩瀬町生瀬の武庫川岩壁

ランク

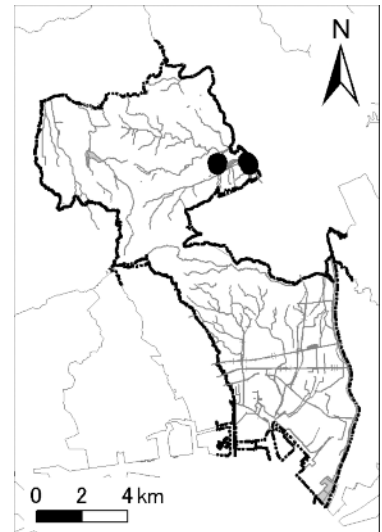
C

川・池沼

小生態系

環境タイプ：岩場

含まれる小生態系：-



面積： 1.1 (ha)

## ■概要

武庫川の中流域に位置します。丘陵部を縫うように流下する武庫川の河岸の一部に岩壁が見られます。そのような場所がサツキ、ツメレンゲなどの渓谷を特徴づける植物の分布域の下流端となっています。「兵庫県版レッドリスト2010」では、岩上植物群落が植物群落のCランクに選定されています。

## ■植生

河辺・岩上植物群落

## ■環境を特徴づけるおもな生物

イワヒバ(植物)など

## ■法規制、指定など

—

## 59 夙川

ランク

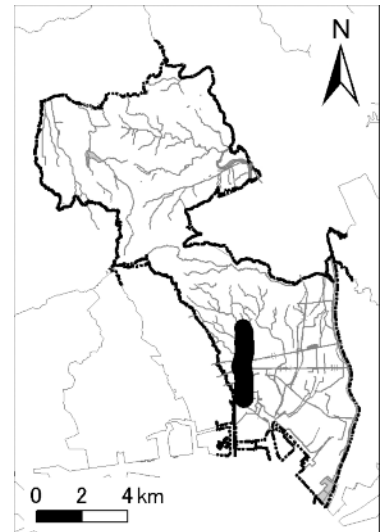
B

川・池沼

中生態系

環境タイプ：水域・樹林

含まれる小生態系：-



面積： 23.8 (ha)

## ■概要

夙川は六甲山の東部から南下し、大阪湾に注ぐ河川です。北夙川橋付近より下流は夙川河川敷緑地として整備されており、桜の名所として親しまれています。平成2年には、日本さくらの会選定による「日本さくらの名所100選」にも選ばれており、春になると、桜の花を楽しむ多くの市民でにぎわいます。また、河畔には古くから保全されてきたクロマツが河畔林を形成しており、良好な樹林景観となっています。この樹林帯は、六甲山系から海岸部をつなぐ緑の回廊となっており、生物の移動ルートとしても重要な役割を果たしていると考えられます。中～上流にかけてはゲンジボタルが生息しており、6月頃に光る姿を観察することができます。魚類の種類も多く、スズエビ、カワニナなどの水生生物も生息しています。

## ■植生

-

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ゲンジボタル(昆虫類)、オイカワ(魚類)、サワガニ(甲殻類)、カワニナ(淡水産貝類)など

## ■法規制、指定など

鳥獣保護区(阪急神戸線より北側)



## 60 津門川

ランク

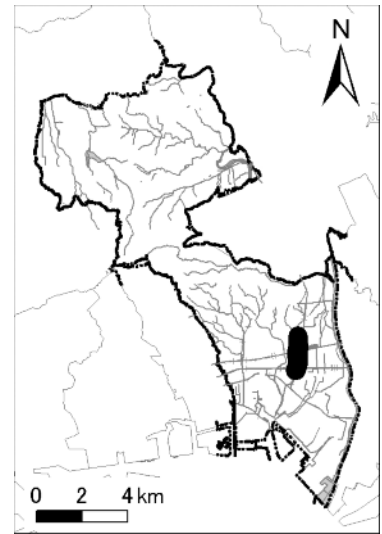
C

川・池沼

中生態系

環境タイプ：水域

含まれる小生態系：-



## ■概要

津門川は西宮市の市街地を北から南へ流れ、大阪湾に注ぐ河川です。両岸はコンクリート護岸となっています。ウキゴリ、オイカワなどの魚類が多く生息しているほか、アユなどの遡上も確認されているなど、市街地の中では貴重な水辺空間となっています。

## ■植生

-

## ■環境を特徴づけるおもな生物

アユ、オイカワ(魚類)など

## ■法規制、指定など

鳥獣保護区(阪急神戸線より北側)



## 61 仁川

ランク

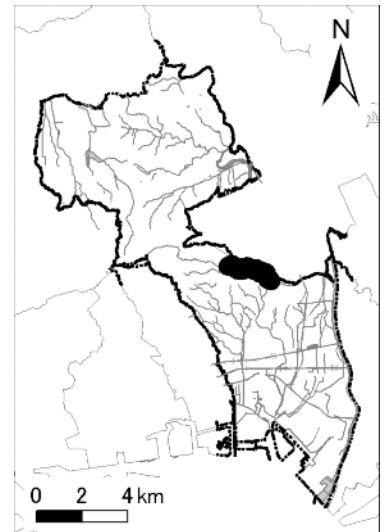
A

川・池沼

中生態系

環境タイプ：水域

含まれる小生態系：-



面積： 44.4 (ha)

## ■概要

仁川は、六甲山の東部から東へ流れ、武庫川に合流する河川です。中～上流にかけてゲンジボタルが生息しており、6月頃に観察することができます。上流部の広河原付近などでは、自然とのふれあいを楽しむ多くの市民が訪れます。河川草地の広がる広河原、その下流部の溪谷、阪急今津線より下流の天井川地形など、多様な河川景観を有しています。「兵庫県版レッドリスト2011」では、阪急今津線より下流側の天井川の景観が地形のCランク、仁川溪谷が自然景観のCランクに選定されています。

## ■植生

ツルヨシ群集など

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ゲンジボタル(昆虫類)、オイカワ(魚類)、サワガニ(甲殻類)、カワニナ(淡水産貝類)など

## ■法規制、指定など

鳥獣保護区(阪急今津線より西側)

## 62 名塩川

ランク

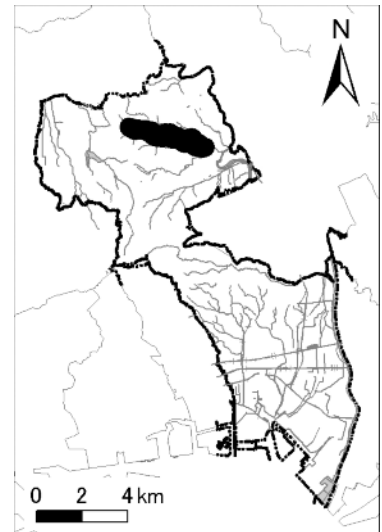
C

川・池沼

中生態系

環境タイプ：水域

含まれる小生態系：-



面積： 48.5 (ha)

## ■概要

名塩川は西から東へ流れ、武庫川に合流する河川です。流域ではゲンジボタルが見られます。魚類の種類も多く、きれいな水に生息するとされる水生昆虫も多く生息しています。なお、特定外来生物のオオクチバスが確認されており、今後の分布状況について、注意が必要と考えられます。

## ■植生

ツルヨシ群集、竹林など

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ゲンジボタル(昆虫類)など

## ■法規制、指定など

-

## 63 有馬川

ランク

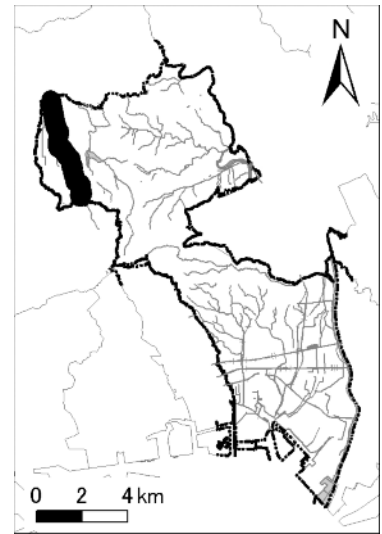
B

川・池沼

中生態系

環境タイプ：水域

含まれる小生態系：-



面積： 60.6 (ha)

## ■概要

有馬川は、六甲山地の紅葉谷を源流とし、山口町を南から北へ流れ、市域外で武庫川に合流する河川です。山口町内では流れは緩やかで、平瀬を中心にオイカワがよく見られます。また、広範囲でゲンジボタルが確認されており、市民による保護活動も進められています。河川に沿って緑道が整備されるなど、市民の憩いの場としての役割も果たしています。

## ■植生

ツルヨシ群集など

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ゲンジボタル(昆虫類)など

## ■法規制、指定など

—

## 64 船坂川

ランク

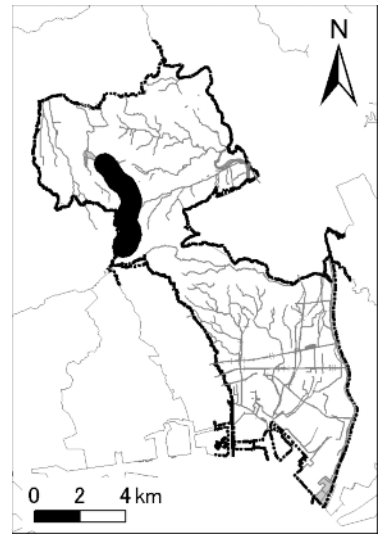
B

川・池沼

中生態系

環境タイプ：水域

含まれる小生態系：-



面積： 74.2 (ha)

## ■概要

船坂川は、六甲山地の船坂谷を源流とし、山口町を南から北へ流れ、金仙寺湖を経て、市域外で武庫川に合流する河川です。隣接する有馬川と比較すると、流れはやや急で、河道内にはツルヨシが繁茂しています。丸山ダムにより形成された金仙寺湖周辺には、桜が植栽されており、名所として親しまれています。源流部には、クマシデ、ミズナラなど、ブナ帯を特徴づける植物も見られます。

## ■植生

ツルヨシ群集など

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ゲンジボタル(昆虫類)、サワガニ(甲殻類)など

## ■法規制、指定など

—



## 65 船坂川の溪谷

ランク

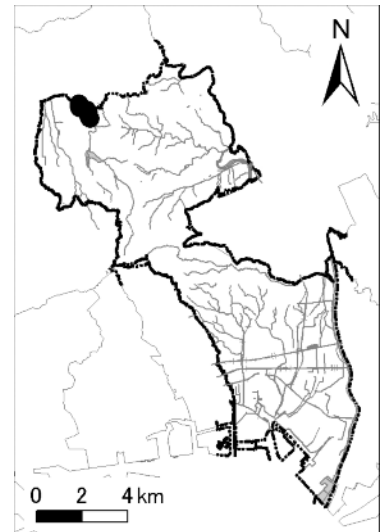
C

川・池沼

中生態系

環境タイプ： 溪谷

含まれる小生態系： -



面積： 4.6 (ha)

## ■概要

船坂川の中流域は、両岸が切り立った溪谷状となっています。溪谷斜面はおもにアカマツーモチツツジ群集で占められ、所々に露岩がみられます。川に沿って道がないため、立ち入りが困難です。自然状態に保たれた河岸の岩壁には、希少植物などが生育している可能性があります。詳細は不明です。今後、詳細な調査が望まれます。

## ■植生

アカマツーモチツツジ群集

## ■環境を特徴づけるおもな生物

情報不足

## ■法規制、指定など

—

## 66 武田尾川の渓谷

ランク

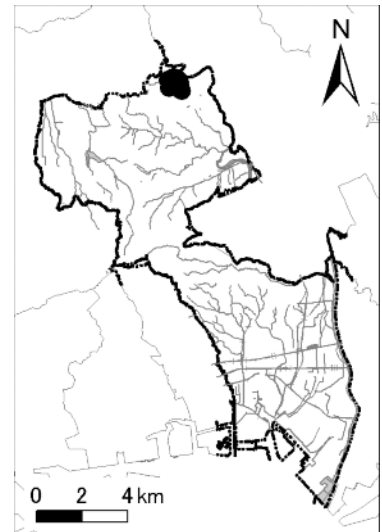
C

川・池沼

中生態系

環境タイプ： 渓谷

含まれる小生態系： -



## ■概要

武田尾温泉付近で武庫川に合流する小河川です。武庫川との合流点から少し上流側では渓谷の様相となっており、渓谷斜面にはイロハモミジ、アオキが多く生育しています。また、河岸に点在する露岩地には、イワヒバ、ギボウシ類などが生育しているほか、フサナキリスゲなどの希少な植物も確認されています。

## ■植生

アカマツーモチツツジ群集

## ■環境を特徴づけるおもな生物

イワヒバ、ナメラダイモンジソウ、ヌリトラノオ(植物)など

## ■法規制、指定など

—

## 67 甲陽園大池

ランク

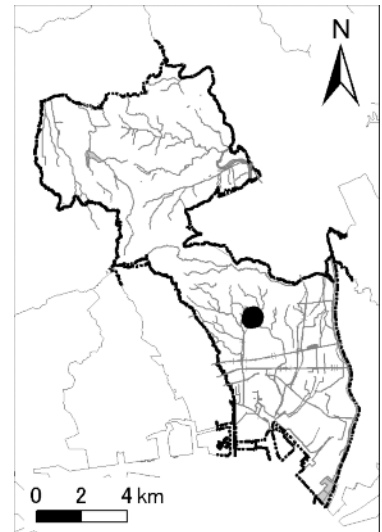
C

川・池沼

小生態系

環境タイプ：池沼

含まれる小生態系： -



面積： 2.7 (ha)

## ■概要

甲山山麓の甲陽園に位置します。周辺は住宅街となっているほか、甲陽園小学校が隣接しています。水辺にはヨシやヒメガマなどの抽水植物が群落を形成しており、茂みの中にはバンなどの鳥類が潜んでいます。水面には植栽起源と考えられるスイレンが見られ、生物多様性保全の観点からは課題が残ります。

## ■植生

ヨシ群落など

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ヨシ、ヒメガマ(植物)、バン(鳥類)など

## ■法規制、指定など

—

## 68 御前浜・香櫨園浜

ランク

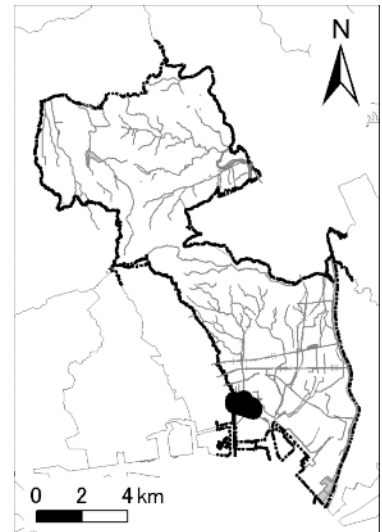
B

海

中生態系

環境タイプ：海浜・干潟・海面

含まれる小生態系：御前浜・香櫨園浜の海浜、御前浜・香櫨園浜の干潟



面積： 13.8 (ha)

## ■概要

御前浜・香櫨園浜は夙川河口付近に広がる阪神間で残された数少ない自然海岸です。夙川より西側は香櫨園浜、東側は御前浜と呼ばれています。干潟を中心に多数の野鳥が飛来し、特にシギ・チドリ類などの渡り鳥の中継地として、重要な役割を果たしています。兵庫県による夙川河口鳥獣保護区に指定されているほか、「兵庫県版レッドリスト2011」では、生態系、自然景観ともにBランクに選定されています。

## ■植生

海浜植物群落(コウボウシバ群落など)

## ■環境を特徴づけるおもな生物

オカヒジキ、ハマヒルガオ、コウボウシバ(植物)、トウネン、ハマシギ、チュウシャクシギ(鳥類)、アサリ(貝類)、イソガニ(甲殻類)など

## ■法規制、指定など

鳥獣保護区



## 69 御前浜・香櫨園浜の海浜

ランク

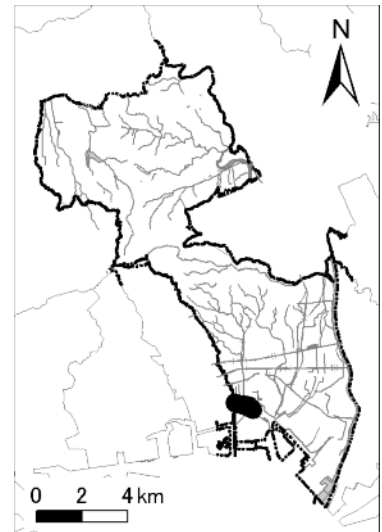
B

海

小生態系

環境タイプ：海浜

含まれる小生態系：-



面積： 4.6 (ha)

## ■概要

夙川河口の両側に広がる砂浜です。阪神間でも貴重な海浜環境となっており、汀線近くにオカヒジキがみられます。また、その後背地にコウボウシバが群生し、ツルナ、ハマヒルガオなどが混生しています。近年、外来植物が侵入、繁茂しており、海浜植物群落保全の観点から、課題となっています。

## ■植生

海浜植物群落(コウボウシバ群落など)

## ■環境を特徴づけるおもな生物

オカヒジキ、ハマヒルガオ、ハマゴウ、コウボウシバ(植物)など

## ■法規制、指定など

鳥獣保護区

## 70 御前浜・香櫨園浜の干潟

ランク

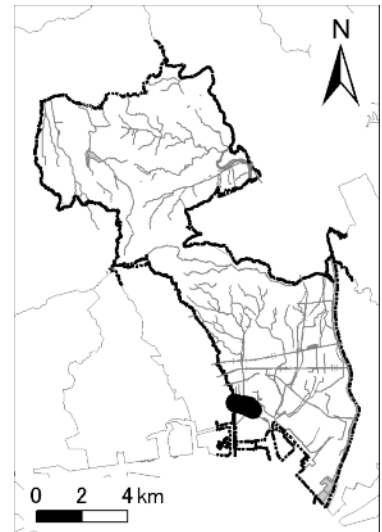
B

海

小生態系

環境タイプ：干潟

含まれる小生態系：-



面積： 9.2 (ha)

## ■概要

御前浜・香櫨園浜の干潟には、ウミナナなどの貝類やハクセンシオマネキなどの甲殻類など、多数の生物が生息しています。春や秋には、このような豊かな餌資源を求めて、シギ・チドリ類などの渡り鳥が多数飛来します。なお、「香櫨園」の名を冠した要注意外来生物コウロエンカワヒバリガイも確認されています。

## ■植生

-

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ダイゼン、トウネン、ハマシギ、オオソリハシシギ(鳥類)、アサリ(貝類)、コウロエンカワヒバリガイ(外来種の貝類)、スナガニ、イソガニ(甲殻類)など

## ■法規制、指定など

鳥獣保護区

## 71 甲子園浜

ランク

A

海

中生態系

環境タイプ：海浜・干潟

含まれる小生態系：甲子園浜の海浜、甲子園浜の干潟、甲子園浜沖の海面



面積： 32.7 (ha)

## ■概要

甲子園浜は、阪神間で残された数少ない自然の海浜および干潟です。昭和53年11月「鳥獣保護及狩猟に関する法律」に基づき、国設浜甲子園鳥獣保護区に指定されました。また、平成18年1月には、市条例「自然と共生するまちづくりに関する条例」に基づき、甲子園浜生物保護地区に指定されました。環境学習施設として、甲子園浜自然環境センターが設置されています。干潟や海面には、多数の野鳥が飛来し、特にシギ、チドリ類の中継地として重要な役割を果たしています。「兵庫県版レッドリスト2011」では、生態系、自然景観ともにBランクに選定されています。また、「日本の重要湿地500」にも選定されています。

## ■植生

海浜植物群落(コウボウシバ群落など)

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ハマヒルガオ、コウボウシバ(植物)、ハマシギ、キョウジョシギ、ホシハジロ、スズガモ(鳥類)、アサリ(貝類)など

## ■法規制、指定など

生物保護地区、鳥獣保護区

## 72 甲子園浜の海浜

ランク

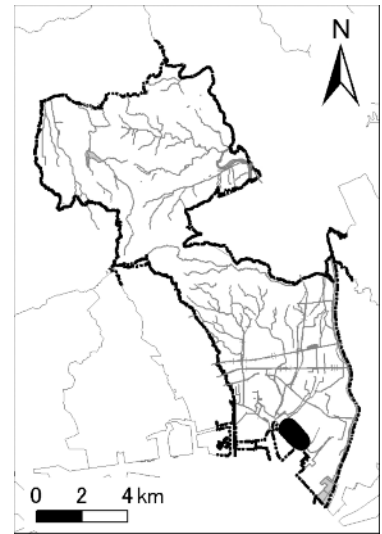
A

海

小生態系

環境タイプ：海浜

含まれる小生態系：-



面積： 5.4 (ha)

## ■概要

甲子園浜の砂浜では、汀線近くにオカヒジキ、その後背地にはコウボウシバのほか、ハマヒルガオ、ハマエンドウなど、海浜に特有な植物が多数生育しています。これらの植物を保全するための市民活動も行われています。また、淡路島の自生個体から増殖し、2003年に植栽された絶滅危惧種ハマビシも生育しています。一方、コマツヨイグサなどの外来植物も見られることから、注意が必要と考えられます。

## ■植生

海浜植物群落(コウボウシバ群落など)

## ■環境を特徴づけるおもな生物

ハマヒルガオ、ハマエンドウ、コウボウシバ、ツルナ(植物)など

## ■法規制、指定など

生物保護地区、鳥獣保護区(特別保護地区)



## 73 甲子園浜の干潟

ランク

A

海

小生態系

環境タイプ：干潟

含まれる小生態系：-



面積： 12.8 (ha)

## ■概要

甲子園浜の干潟には、ウミナ、アサリなどの貝類、イソガニなどの甲殻類をはじめとして、多数の生物が生息しています。このような豊かな餌資源を求めて、ハマシギ、チュウシャクシギをはじめとするシギ、チドリ類などの渡り鳥が多数飛来します。

## ■植生

-

## ■環境を特徴づけるおもな生物

キアシシギ、ハマシギ、キョウジョシギ、チュウシャクシギ、トウネン(鳥類)、アサリ(貝類)など

## ■法規制、指定など

生物保護地区、鳥獣保護区(特別保護地区)

## 74 甲子園浜沖の海面

ランク

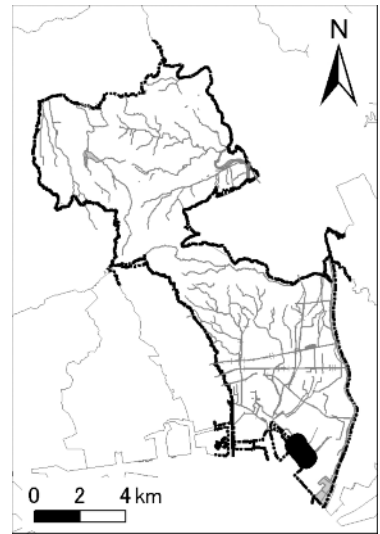
C

海

小生態系

環境タイプ：水域

含まれる小生態系：-



面積： 14.2 (ha)

## ■概要

甲子園浜の海浜や干潟の前面に広がる海面です。春から夏にかけては上空をコアジサイが飛び交い、冬季には、北方よりシハジロやスズガモなどのカモ類が多数飛来し、沖合で羽を休めています。

## ■植生

-

## ■環境を特徴づけるおもな生物

カンムリカイツブリ、ホシハジロ、スズガモ(鳥類)など

## ■法規制、指定など

鳥獣保護区



